

済生会御所病院看護職員教育指針 クリニカルラダー 2023年版

- ◆済生会御所病院看護職員の生涯教育の一環である継続教育の指針となるもの
- ◆クリニカルラダーの目的:高度な社会のニーズに応えられる看護職員の育成
 - ・済生会の組織人として個人・組織・地域レベルで幅広い看護実践の研鑽と積み上げ
 - ・済生会の医療の質向上・維持
 - ・済生会の理念、看護の基本方針を基に体现
 - ・済生会ブランドを高める
 - ・済生会の求める看護職員を育てていく

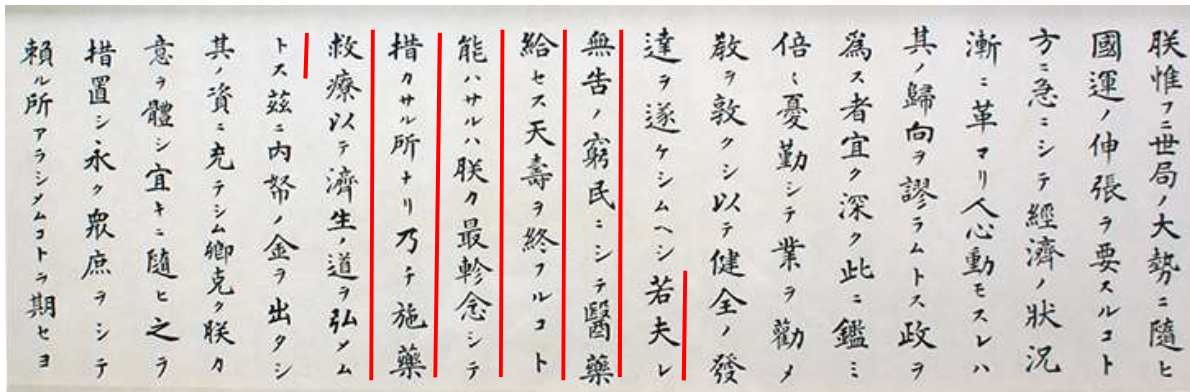
済生会の概要

I. 済生会の歴史

1) 済生会の創立

- ・明治天皇:明治44年2月11日、「恵まれない人々のために施薬救療事業をおこすように」と『済生勅語』を下賜
- ・桂総理:明治44年5月30日、済生会を創立

『済生勅語』



【済生勅語の大意】

私が思うには、わが国は世界の大勢に対応して、国運の伸長を急務としてきた。経済情勢はようやく改まったが、国民の中には考え方を誤る者も出てきた。政治を預かる者は、動揺する人心を考慮して、これに十分な対策を講ずる必要がある。勸業と教育に意を用い、国民の健全な発展に尽力しなければならない。もし、国民の中に頼るべきところもなく、困窮して医薬品を手に入れることができず、天寿を全うできない者があるとすれば、それは私が最も心を痛めるところである。こうした人々に対し無償で 医薬を提供することによって命を救う「済生」の活動を広く展開していきたい。その資金として皇室のお金を出すことにした。総理大臣はこの趣旨をよく理解して具体的な事業をおこし、国民が末永く頼れるところとしてもらいたい。

2) 現在の済生会

- ・医療に恵まれないすべての人々に手を差し伸べるという創立の精神に則り、各地で、各病院で事業展開
 - 生活困窮者に対する最後の砦(日本社会の最終ライン)として、人々が安心して生活できるよう保健・医療・福祉を連携させたきめ細かなサービスの提供を推進する
 - 救急医療、災害医療、へき地医療など地域で不可欠な医療分野の役割を担う
 - 高度先進医療から慢性期医療まで一貫した少子高齢化社会に合致し切れ目のない医療・福祉サービスを行う

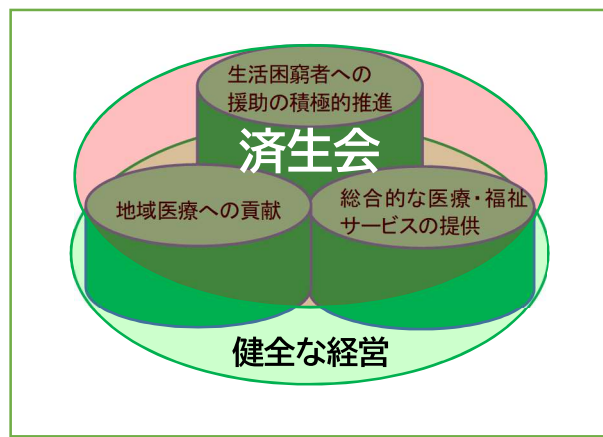
【『新済生勅語』平成23年5月30日 天皇陛下のおことば】

済生会は明治44年、「無告ノ窮(キユウ)民ニシテ醫(イ)藥(ヤク)給セス、天壽(ジユ)ヲ終フルコト能(アタ)ハサルハ、朕力最(モットモ)軫(シン)念シテ措(オ)カサル所ナリ、乃(スナハ)チ施薬救療、以(モツ)テ済(サイ)生ノ道ヲ弘(ヒロ)ムトス」という明治天皇の勅語を体して創立されました。当時の我が国は国勢こそ盛んになっていましたが、国民の中には、生活に困窮して、医療が受けられない人も多く、深刻な状態にありました。以後、済生会は長年にわたり、この「生命を救う道」を広めるという目的の下、たゆみない努力を続け、各地域における医療と福祉の向上に多大な貢献をなしてきました。ここに今日に至る 済生会の歴史の中で、その活動を支えてきた多くの人々の努力に深く敬意を表します。

先の東日本大震災においては、済生会の各地の病院からもいち早く医療関係者が被災地へ赴き、現在も引き 続き支援が行われていることを誠に心強く思っています。大津波による壊滅的被害が広範囲に及んだこの度の災害では、救援活動を行う環境が厳しく、その苦労は計り知れないものであったと察しています。私どもは幾つかの地域で被災者を見舞う機会を持ちましたが、その折少なからぬ被災者から、救援の人々に支えられていることに対する深い感謝の気持ちを告げられました。そうした中に、済生会の救援活動も大きな役割を担っていたことと、感謝しています。自然災害の危険が常に存在し、高齢化が進んでいる我が国の社会にあっては、困難な状況に置かれている人々を支えていく済生会の活動は極めて重要であります。済生会が長年にわたって積み重ねた経験を今後にかし、済生会の活動が人々の幸せに一層資するようになることを願い、お祝いの言葉といたします。

II. 済生会の果たすべき役割

- ・「施薬救療の精神」を現在に生かし、医療に恵まれない人々に医療を提供することはもちろん、さまざまな社会的弱者に対して目を向け、積極的に手を差し伸べる幅広い対応を行うことである
- ・「施薬救療の精神」に基づき、特色のある多様な活動を行い、我が国の保健・医療・福祉の分野において重要な役割を担う
- ・済生会の果たすべき役割の3本柱
「生活困窮者への援助の積極的推進」「地域医療への貢献」「総合的な医療・福祉サービスの提供」



III. 済生会における人材育成

1) 人材確保対策の充実

- ・優れた人材の採用、育成
- ・本会で働いてよかったと思えるように、働きやすく、働きがいのある職場づくり
- ・魅力あるキャリアプラン

2) 職員の資質の向上

- ・御所病院において、各レベルに応じた研修
- ・御所病院において、基本的な知識・実務能力や人権に配慮した研修
- ・支部・ブロックにおいて、より幅広い視野を求められる中堅職員の研修
- ・本部において、管理職として必要な研修



- ◆ 看護師の臨床実践能力を開発するために、段階的な習得プログラム＝クリニカルラダーを導入する
- ◆ 専門看護師・認定看護師等の資格取得などの看護師のキャリアアップを支援、医療の質の向上に繋げる
- ◆ 切れ目のない総合的な医療・福祉等のサービスを行うため、他分野との連携やチーム医療を担い、地域の中でコーディネイトできる人材の育成を行う

済生会看護の目指すもの

I. 済生会看護理念

済生会の基本理念である「施薬救療」の精神に基づいて人々の幸せに資する看護を提供します

II. 基本方針

- ①保健・医療・福祉との連携を図り、地域に密着した看護を提供します
- ②全ての人々の尊厳を重んじ、質の高い看護を提供します
- ③保健・医療・福祉チームの中で、看護の専門職としての役割を果たします
- ④施設の健全経営に参画し、安定した経営の確保に努めます
- ⑤常に自己研鑽に努め、済生会看護の発展に寄与します

III. 済生会教育理念

済生会の看護理念を理解し、個人が主体的なキャリア開発ができる看護職を育成します

IV. 済生会御所病院 看護部教育理念

1. 病院理念と看護部教育理念および教育方針を基盤とした教育を行う。
2. 豊かな感性、高い倫理観、真の自律性を備え、高度な専門的知識・技術・判断に基づいた信頼される質の高い安全で確実な看護サービスを提供できる看護師を育成する。
3. 1人の人間として成長し、自ら看護師としてのキャリアを開発し、幅広い理論を実践に統合し、自己実現できる専門職業人を目指す。

V. 済生会御所病院 看護部教育方針

1. 高度な看護実践能力と役割を段階的に修得、迅速かつ的確に判断、主体的に行動できる看護職員を育成する。
 - ①当院看護職員は全員、クリニカルラダーレベル教育を受け、レベルを取得する。
 - ②クリニカルラダーレベルⅠおよびⅡは、院内教育プログラムに沿った教育に加え、自主的な院外研修への参加を支援する。
 - ③クリニカルラダーレベルⅢ以上は、院内外において自ら学ぶ機会を選択し、学習を重ねることを支援する。
 - ・管理室の指示により、済生会本部研修および日本看護協会・奈良県看護協会研修会への参加を支援する。
 - ・自ら希望する学会、研修会等の参加を支援する。
 - ④集合教育での学びが現場の看護実践に活かされるよう、連動できる体制づくりを行う。
2. 看護の倫理観に基づいた心豊かな人間性と社会性を備えた、地域に貢献できる看護職員を育成する。
 - ①患者さまの尊厳を尊重し、最善を尽くし、全人的医療と看護実践ができる看護職員を育成する。
 - ②地域の医療需要に応えられる医療体制を整え、地域住民の保健・医療・福祉の充実・向上のための役割と責務を果たす。
3. 主体的に学びを深め、自己のキャリア開発できる看護職員を育成する。
 - ①専門職業人として、自己目標を持ち、自己のキャリア開発ができる能力を有する看護職員を育成する。
 - ②院内外の学習資源を活用し、主体的に学びを深める看護職員を育成する。

VI. 済生会御所病院 看護部教育目標

1. 社会人、医療人、専門職業人としてコミュニケーション能力および接遇能力を身に付け、患者・家族および医療・看護チーム内の人間関係を構築、調整する。
2. 基本的知識・技術の習得と共に、経験を積み重ねることで臨床判断力を磨き、質の高い安全で安心な看護サービスを提供する。
3. 看護提供を通じて、組織目標達成のための自己の役割任務を発揮し、マネジメント能力を養う。
4. 看護を客観的に捉え、論理的思考や科学的な裏づけに基づき分析し、研究的に取り組む姿勢を養う。
5. 看護職員個々の現状やニーズを把握し、あらゆる条件下で評価を行い、看護における教育・指導機能を果たす。
6. 看護職員個々が主体的に仕事の目的・目標を選択し、仕事とライフスタイルの調和や自分らしさを創る環境を提供する。

人材育成としてのキャリア開発

I. 組織とキャリア開発

1) 組織とキャリア開発

- ・「個人の生き方へのニーズ」と「組織の活性化へのニーズ」の両方を満たすこと
- ・組織にいる一人ひとりが、組織の資源を活用しながら能力を発揮し、経験を積み重ねて満足のいくキャリアを歩むことで、結果的には組織にポジティブなフィードバックが起こり、組織目標に到達する

2) 病院組織におけるキャリア開発の意義

- ・人材育成は看護サービスの質を決定する
- ・高い看護サービスを生み出す看護職員のキャリア開発は、顧客満足を高める

3) 看護職のキャリア開発

- ・個々の看護職者が社会のニーズや各個人の能力及び生活(ライフスタイル)に応じてキャリアをデザインし、自己責任でその目標達成に必要な能力の向上に取り組む
- ・組織の目標を踏まえたキャリアデザインとなり、組織はその取り組みを支援する
- ・時の経過に伴う個人(人生の経過の中で生じる課題を踏まえた)と組織の相互作用に焦点を当て、キャリア開発する

4) キャリアを支える仕組み

- ・新入職時から、本人のレベルに合わせて知識や技術の習得ができるようにする
- ・ライフイベントやワークライフバランスを含め、個人の希望に配慮して支援する
- ・看護師一人ひとりが将来の目標を設定し、専門性を発達させられるように管理者が支援していく

II. 継続教育

1) 継続教育とは

- ・2000年日本看護協会教育委員会
「看護における継続教育とは、看護基礎教育の上に積み上げられる学習経験であり、系統的に計画された学習や個人が自律的に積み重ねる学習、研究活動を通じた学習などさまざまな形態をとるものである。その目的は、看護専門職として常に最善のケアを提供するために必要な知識、技術、態度の向上を促すことである。すべての看護職者は専門職として自らの責任において、生涯にわたって継続教育に参加する倫理的責任を負っている」
- ・現任教育:多様なプログラムで展開、看護職の生涯学習の一環

2) 継続教育の範囲

- ① 新人教育
- ② ジェネラリストを育成する教育
- ③ スペシャリストを育成する教育
- ④ 管理者を育成する教育
- ⑤ 教育者・研究者を育成する教育

3) 現任教育とその位置づけ

継続教育	現任教育	院内教育	病院主催 看護部主催(Off-JT・OJT)
		院外教育	日本看護協会 済生会本部・ブロック主催など
	卒後教育	大学院	修士課程博士課程
		認定教育機関	日本看護協会看護研修センター

4) 済生会御所病院 看護部教育研修システム【看護師】

済生会御所病院看護部がめざす「クリニカルラダーレベル教育」と「専門分野別教育」実現のため、年間計画を

立案、教育研修を行う。さらに学研ナーシングサポート「eラーニングシステム」を導入、自己成長に役立てる。

◆クリニカルラダーレベル教育システム	有役職者が中心となり、臨床実践能力を到達別に計画し、個々の生活状況や学習状況に対応し、到達目標に向かって学び、自己成長できるような教育プログラムを企画・運営する
◆専門分野別教育システム	有資格者(認定、専門等)が中心となり、看護の動向を見ながら、短年度において急務として、専門職業人として取り組むべき内容や希望に沿った教育プログラムを企画・運営する
◆学研ナーシングサポート「eラーニングシステム」	各自が時間・場所を選ばず学習できる体制を整えている ①院内研修では補うことができない内容を学習する ②院内研修に参加できないスタッフに学習の場を提供する ③院外研修に参加できないスタッフも院外講師の授業を受ける環境を提供する

5) 済生会御所病院 院内教育研修会における担当委員会とその担当研修内容一覧

分類		担当委員会名	担当研修内容
院内研修	クリニカルラダーレベル教育研修	師長会	看護管理者研修
		副看護師長会+業務委員会	業務、看護理論、事例研究
		主任会+記録委員会	記録、看護診断、看護必要度
		教育研修委員会	看護倫理、看護コミュニケーション、災害看護
		新人教育研修会	新人教育全般
		実習指導者研修会	指導のありかた
		リスクマネジメント委員会	リスクマネジメント研修
	専門分野別研修	認定看護師会	基礎研修、事例検討、看護研究
		◆認知症看護認定看護師	
		◆皮膚・排泄ケア認定看護師	
		◆手術看護認定看護師	
		◆救急看護認定看護師	
		周術期管理チーム看護師	よりよい周術期看護
		ストーマ認定士	ストーママーキングとストーマ管理について
		消化管内視鏡技師	消化管内視鏡の検査前・後の看護
		NST専門療法士	栄養と看護
		ICT 看護師	基礎研修、事例検討
	ICLS 準備委員会	BLS、急変時対応	
	中途採用者研修	看護管理室	プログラムに沿い、各委員会協力研修会開催
看護補助者研修	看護管理室	看護ケア内容の学習:eラーニングを用いて	
院外研修	済生会本部研修、済生会近畿ブロック研修会、日本看護協会研修会・学会 奈良県看護協会研修会、各種研修会各種学会		

済生会のキャリア開発

I. 教育体系図とテキスト活用例

- ◆全国済生会看護職教育体系

別紙参照

- ◆全国済生会看護職教育体系とテキスト活用例

別紙参照

II. クリニカルリーダーの考え方

1) クリニカルリーダーとは

【臨床における看護実践の習熟段階】

①看護実践能力	ナイチンゲール思想に基づいた看護理論を使って「看護とは」「人間とは」を考えながら、正確な技術をもってケアが実践できる能力	①ニーズをとらえる力
		②ケアする力
		③協働する力
		④意思決定を支える力
②マネジメント能力	臨床実践を行う上で必要である感染・安全・人材・目標管理・業務管理などにおける能力	①安全管理
		②時間管理
		③情報管理
		④経営参画(質の評価と業務改善)
③教育・研究能力	教育・指導・実践や看護研究における能力	教育・研究
④組織的役割遂行能力	社会人・済生会人としての基本を身に着ける能力	組織的役割遂行・済生会活動

【人材育成の研修プログラム】

クリニカルリーダーレベル及び研修プログラム				習熟段階 レベルⅠ～Ⅴは臨床実践能力の習熟段階を示す。なお、レベルⅣ以上から、管理、スペシャリストの領域へと進むことができる
レベルの定義	研修内容			
	本部	ブロック	施設	
レベルⅤ 多職種との連携を図り、リーダーシップを発揮しながら所属部署の課題を解決する	新人看護職員教育担当者研修		ミドルリーダー研修	ジェネラリスト スペシャリスト 管理職 レベルⅤ
レベルⅣ 所属部署でリーダーシップを発揮し、スタッフを支援する	中堅看護師研修(アドバンスマネジメント研修Ⅳ) 新人看護職員教育担当者研修		リーダーシップ研修	レベルⅣ
レベルⅢ チームにおいてリーダーシップを発揮する	中堅看護師研修(アドバンスマネジメント研修Ⅲ) 認知症支援ナース育成研修	中堅看護師研修(アドバンスマネジメント研修Ⅱ)	中堅看護師研修(アドバンスマネジメント研修Ⅰ)	レベルⅢ
レベルⅡ チームメンバーの役割と責任を認識し行動する			人間関係研修 看護倫理研修 看護過程研修など	レベルⅡ
レベルⅠ チームの一員としての役割を認識する			新人研修ガイドラインに沿った研修	レベルⅠ

2) マネジメントリーダーとは: 5つのレベルと5つのカテゴリーから構成、到達目標を設定、クリニカルリーダーと関連

カテゴリー	能力・行動特性			
理念と目標管理				
看護の質・評価・改善	創造力・企画実践力	専門的能力	組織改革能力	問題解決能力
	分析的思考	質保証		
人間関係能力	コミュニケーション能力	交渉力	調整力	対人感受性
	対人影響力	関係構築力	セルフコントロール	
キャリア開発	育成力	自己研鑽		
倫理	意志決定支援能力	信念の維持(看護観・倫理観)		コンプライアンス

【クリニカルラダー定義:看護師】

レベル毎に 求められる役割		レベルⅠ		レベルⅡ		レベルⅢ		レベルⅣ		レベルⅤ		
		チームの一員 としての役割 を認識する		チームメンバー の役割と責任を 認識し行動する		チームにおいて リーダーシップを 発揮する		所属部署でリーダ ーシップを発揮し スタッフを支援する		多職種との連携を図 り、リーダーシップを 発揮しながら所属部 署の課題を解決する		
看護 実践 能力	レベルの 定義	基本的な看護 手順に従い必 要に応じて、助 言を得て看護 を実践する		標準的な看護 計画に基づき 自立して看護を 実践する		ケアの受け手に 合う個別的な看護 を実践する		幅広い視野で予測的 判断を持ち、看護を 実践する		より複雑な状況におい てケアの受け手にとっ ての最適な手段を選 択し QOL を高めるた めの看護を実践する		
	ニーズ をとら える力	定義	助言を得てケア の受け手や状 況(場)のニーズ を捉える		ケアの受け手や 状況(場)のニー ズを自ら捉える		ケアの受け手や 状況(場)の特性を 踏まえたニーズを 捉える		ケアの受け手や状況 (場)を統合しニー ズを捉える		ケアの受け手や状況 (場)の関連や意味を 踏まえ、ニーズを捉え る	
	ケア する力	定義	助言を得なが ら、安全な看護 を実践する		ケアの受け手や 状況(場)に応じ た看護を実践す る		ケアの受け手や 状況(場)の特性を 踏まえた看護を 実践する		様々な技術を選択・ 応用し、看護を実 践する		最新の知見を取り入 れた創造的な看護を 実践する	
	協働す る力	定義	関係者と情報 交換する		看護の展開に 必要な関係者を 特定し、情報交換 する		ケアの受け手やそ の関係者、多職種 と連携する		ケアの受け手を取り 巻く多職種の力を 調整し連携する		ケアの受け手の複雑な ニーズに対応できる ように、多職種の力を 引き出し連携に活かす	
	意思決 定を支 える力	定義	ケアの受け手や 周囲の人々の 意向を知る		ケアの受け手や 周囲の人々の 意向を看護に 活かす		ケアの受け手や 周囲の人々に意思 決定に必要な情報 提供や場を設定 する		ケアの受け手や周囲 の人々の意思決定に 伴うゆらぎを共有 し、選択を尊重する		複雑な意思決定プロ セスにおいて、多職種 も含めた調整的役割 を担う	
マ ネ ジ メ ン ト 能 力	安全 管理	定義	マニュアル(医 療安全・感染・ 災害)に基づ き、助言を得て 行動する		マニュアル(医療 安全・感染・災害) に基づき、行動 する		マニュアル(医療 安全・感染・災害) に基づき、状況に 応じて行動し、リー ダーシップを発揮 する		安全な医療を提供 するために改善策を 提案する		安全な医療を提供す るために関係する 職種とともに協働する	
	時間 管理	定義	日々の業務に 係る時間管理を する		優先順位を考え、 効果的・効率的な 業務の時間管理 をする		チーム全体が安全 で効果的に業務を 行うための調整・ 時間管理をする		所属部署全体が安全 で効果的に業務を行 うための調整・時間 管理をする		多職種との連携を 図り、所属部署の時 間管理を推進する	
	情報 管理	定義	守秘義務や 個人情報保護 について理解 し、遵守する		医療情報シス テムを理解し、行 動する		得られた情報を ケアの受け手や その関係者と活用 する		得られた情報を多職 種による医療チ ーム内で共有し、チ ーム活動に役立 てる		医療に関する情報 を把握して、看護 の質向上に役立 てる	
	経営 参画	定義	看護の経済 的評価を理解 する		看護の経済 的評価を理解し て、行動する		看護実践と財務 の視点を関連付 けて考える		効果的・効率的な 視点をもち部署 の業務改善に取 り組む		業務改善に取り 組み、経営に参 画する	
教育 研究 能力	教育 研究	定義	自己の課題に 対して、助言を 受けて学習する		自己の学習課題 を明確にし、自 主的に学習する		自己の成長と仕事 が円滑に進むこと により、患者の利 益に繋がることを 理解する		・自己のキャリア開 発に向けて主体的 に取り組む ・所属部署の看護 の質を高めるため に研究的視点で取 り組む		・組織における教 育的な役割を率 先して発揮する ・看護研究を実 践・活用し看護 の質を高める	
組織 的 役 割 遂 行 能 力	組織 的 役 割 遂 行 能 力	定義	済生会及び 自施設の理念 と使命を理解 する		済生会人とし ての役割を理 解し組織の一 員として行動 する		所属部署の目 標を理解し、主 体的に行動す る		所属部署の目 標達成に向け、 チーム活動を 推進する		自施設の目標 達成に向け、 多職種と協 働する	

【クリニカルラダー定義:准看護師】

レベル毎に 求められる役割		レベルⅠ		レベルⅡ		レベルⅢ		レベルⅣ	
		チームの一員としての 役割を認識する		チームメンバーの役割 を認識し、指導を受け ながら行動する		チームメンバーの役割 を認識し、看護師に確 認のうえ行動する		チームリーダーの役割を 認識し、看護師に確認の うえ行動する	
看護 実践 能力	レベルの 定義		基本的な看護手順に 従い、看護師の助言・ 指導を得て看護を 実践する	標準的な看護計画に 基づき、指導を受けな がら、看護を実践する	標準的な看護計画に 基づき、自立して看護を 実践する	ケアの受け手に合う個別的 な看護の展開を倫理的根拠 をもって実践する			
	ニーズ をとら える力	定義	助言・指導を得て、ケ アの受け手や状況 (場)のニーズを捉える	助言・指導を得て、ケア の受け手や状況(場)の ニーズを捉える	ケアの受け手や状況 (場)のニーズを自ら捉 える	ケアの受け手や状況(場)の 特性を踏まえたニーズを 捉える			
	ケア する力	定義	助言・指導を得て、安 全な看護を実践する	助言・指導を得て、ケア の受け手や状況(場)に 応じた看護を実践する	ケアの受け手や状況 (場)に応じた看護を実 践する	ケアの受け手や状況(場)の 特性を踏まえた看護を実践 する			
	協働 する力	定義	関係者と情報交換 する	助言・指導を得て、看護 の展開に必要な関係者 を特定し、情報交換する	看護の展開に必要な 関係者を特定し、情報 交換する	ケアの受け手やその関係 者、多職種と連携する			
	意思決 定を支 える力	定義	助言・指導を得て、 ケアの受け手や周囲 の人々の意向を知る	助言・指導を得て、ケア の受け手や周囲の人々 の意向を看護に活かす	ケアの受け手や周囲の 人々の意向を看護に 活かす	ケアの受け手や周囲の人々 に意思決定に必要な情報提 供や場を設定する			
マ ネ ジ メ ン ト 能 力	安全 管理	定義	助言・指導を得て、 マニュアル(医療安全・ 感染・災害)に基づき 行動する	助言・指導を得て、マニ ュアル(医療安全・感染・ 災害)に基づき行動する	マニュアル(医療安全・ 感染・災害)に基づき 行動する	マニュアル(医療安全・感 染・災害)に基づき状況に応 じて行動する			
	時間 管理	定義	日々の業務に係る 時間管理をする	助言・指導を得て、優先 順位を考え、効果的・ 効率的な業務の時間 管理をする	優先順位を考え、効果 的・効率的な業務の時間 管理をする	チーム全体が安全で効果的 に業務を行うための調整・ 時間管理に協力、貢献する			
	情報 管理	定義	守秘義務や個人情報 保護について理解し、 遵守する	医療情報システムを理 解し、行動する	医療情報システムを 理解し、行動する	得られた情報をケアの 受け手やその関係者と 活用する			
	経営 参画	定義	看護の経済的評価を 理解する	助言・指導を得て、看護 の経済的評価を理解し て、行動する	看護の経済的評価を 理解して、行動する	看護実践と財務の視点を 関連付けて考える			
教育 研究 能力	教育 研究	定義	助言・指導を得て、 自己の課題に対して、 受けて学習する	助言・指導を得て、自己 の学習課題を明確にし、 学習する	自己の学習課題を明確 にし、自主的に学習する	・自己の成長と仕事が円滑 に進むことにより患者の 利益に繋がることを理解 する ・計画的に学習し、その成果 を看護実践に活用する			
組織的 役割遂 行能力	組織的 役割遂 行能力	定義	済生会及び自施設の 理念と使命を理解 する	済生会人としての役割 を理解し組織の一員と して行動する	済生会人としての役割 を理解し組織の一員と して行動する	所属部署の目標を理解し、 主体的に行動する			

【マネジメントリーダー定義と研修プログラム:看護師1】

	レベルⅠ:看護師主任	レベルⅡ:副看護師長	レベルⅢ:看護師長
到達目標	済生会の使命に基づいて、済生会御所病院・同看護部の運営方針に沿って、支援を受けながら、自部署の看護管理に参画できる	済生会の使命に基づいて、済生会御所病院・同看護部の運営方針に沿って、看護師長を補佐する。また、必要時は支援を受けながら、自部署の看護管理を実践できる	済生会の使命に基づいて、社会・看護の動向を捉え、済生会御所病院・同看護部の運営方針に沿って自部署の看護管理を実践できる
理念と目標管理	①済生会の理念、済生会御所病院や同看護部の理念を理解し、自部署の目標設定に参画する ②支援を受けながら、自部署の目標達成に向けて行動する	①看護師長を補佐し、済生会の理念、済生会御所病院や同看護部の理念・目標を基に、自部署の目標設定及び達成に向けて行動する ②部署目標の達成に向けスタッフに指導的役割を果たす ③看護師長の指示のもと、多職種と協働し、目標達成に向けて行動する	①済生会の理念、済生会御所病院や同看護部の理念・目標を基に、自部署の目標を設定し、達成する ②経営資源を効果的に使うことで部署の業績向上、看護の質向上を図る ③看護部長の指示のもと、他部門・多職種と協働し、目標達成に向けて行動する
看護の質・評価・改善	①支援を受けながら、情報整理、自部署の看護提供システムについて検討する ②支援を受けながら、部署が目指す看護サービスを提供し、客観的データをもとに評価する ③看護管理上あるいは体制上の課題に気づくことができる ④医療事故防止・感染防止・危機管理(災害)・労務管理について理解する	①必要時、支援を受けながら、自部署の看護提供システムを評価し、改善の方策を看護師長に提案する ②看護の質改善に関する課題に対して状況を把握し、問題分析を行い、客観的データを持って提案する ③自部署が目指す看護サービスを提供し、客観的データをもとに評価する ④必要時、支援を受けながら、医療事故防止・感染防止・危機管理(災害・苦情・ハラスメント等)・労務管理について問題抽出でき、看護師長に報告、実践する	①より良い看護サービスを提供するために、常に変革の意識をもつ ②医療体制・国の動向を把握、組織理念に合った自部署の看護提供システムを考え、上司に企画・提案する ③質改善に必要なデータを収集・分析し、活用するための支援を受けながら自部署の看護サービスを継続的に評価・改善する ④多職種と関わり、問題解決のために継続的改善活動をする ⑤患者・家族が満足できる療養環境を提供する ⑥労務管理を実践し、スタッフが働きやすい労働環境を提供する ⑦医療事故防止・感染防止・危機管理(災害・苦情・ハラスメント等)の指導・支援をスタッフに行い、自部署の安全文化の醸成を推進する
人間関係能力	①相手の思いを傾聴、気持ちや感情を察知して、的確に理解・配慮する ②相手に伝わる適切な言語を活用する ③次期看護リーダーとして、職員との良好な人間関係を構築、維持する	①患者を中心としたチーム医療の推進のために、多職種との人間関係を構築し、維持する ②分析的思考で物事を捉え、看護師長とスタッフ間の調整を図る ③リーダーとしてセルフコントロールができ、冷静な判断と必要時支援を受けながら対応できる	①患者を中心としたチーム医療の推進のために、他部門・多職種に成果を導き出すための交渉をする ②相手の専門性や状況に合わせて方針や意図を効果的に伝達し、相手の理解、納得を得る ③自己の感情がスタッフに及ぼす影響を自覚し、良好な人間関係を構築、維持する ④管理者としてセルフコントロールを行い、冷静に判断し、対応する
キャリア開発	①支援を受けながら、スタッフ個々の能力を把握し指導的関わりを行う ②支援を受けながら、自己の能力を客観的に評価し、課題を明確にする ③支援を受けながら、自部署の問題点を捉え、課題として取り組む ④学生に対して、看護の役割モデルとして行動する	①管理的視点の学習に取り組む ②スタッフ個々の能力を把握し、助言・指導を行う ③自己の能力を客観的に評価し、課題に取り組む ④自部署の問題点を研究的視点で捉え課題として取り組む ⑤効果的な学生指導ができるように臨床指導者の支援を行う	①管理能力を高め、組織に貢献する ②自己のキャリアアップに向けて行動し、その姿勢を部下にも示す ③スタッフ個々の能力を引き出し、キャリア開発支援をする ④スタッフが実践に根ざした看護研究が行えるように支援する ⑤専門性の高い知識と技術を持った看護師が能力発揮できるよう支援する
倫理	①法令や社会的規範を遵守し行動する ②自部署に生じる倫理的課題に気づき、支援を受けながら、解決に向けて行動する	①法令や社会的規範を遵守し行動する ②自部署に生じる倫理的課題に気づき、必要時支援を受けながら、解決に向けて行動する ③倫理的課題について話し合える職場環境作りに向けて行動する ④「看護師の倫理綱領」に基づいた看護実践ができるようスタッフを支援する	①法令や社会的規範を遵守し行動する ②自部署に生じる倫理的問題を提起し、看護観・倫理観に基づき、解決に向けて行動する ③倫理的課題について話し合える職場環境を維持・向上させる ④「看護師の倫理綱領」に基づいた看護実践ができるようスタッフを指導する
本部研修	アドバンス・マネジメント研修Ⅲ	・アドバンス・マネジメント研修Ⅳ ・新人看護職員教育担当者研修	・新任看護師長研修、看護師長研修 ・看護補助者の活用と支援についての看護管理者研修

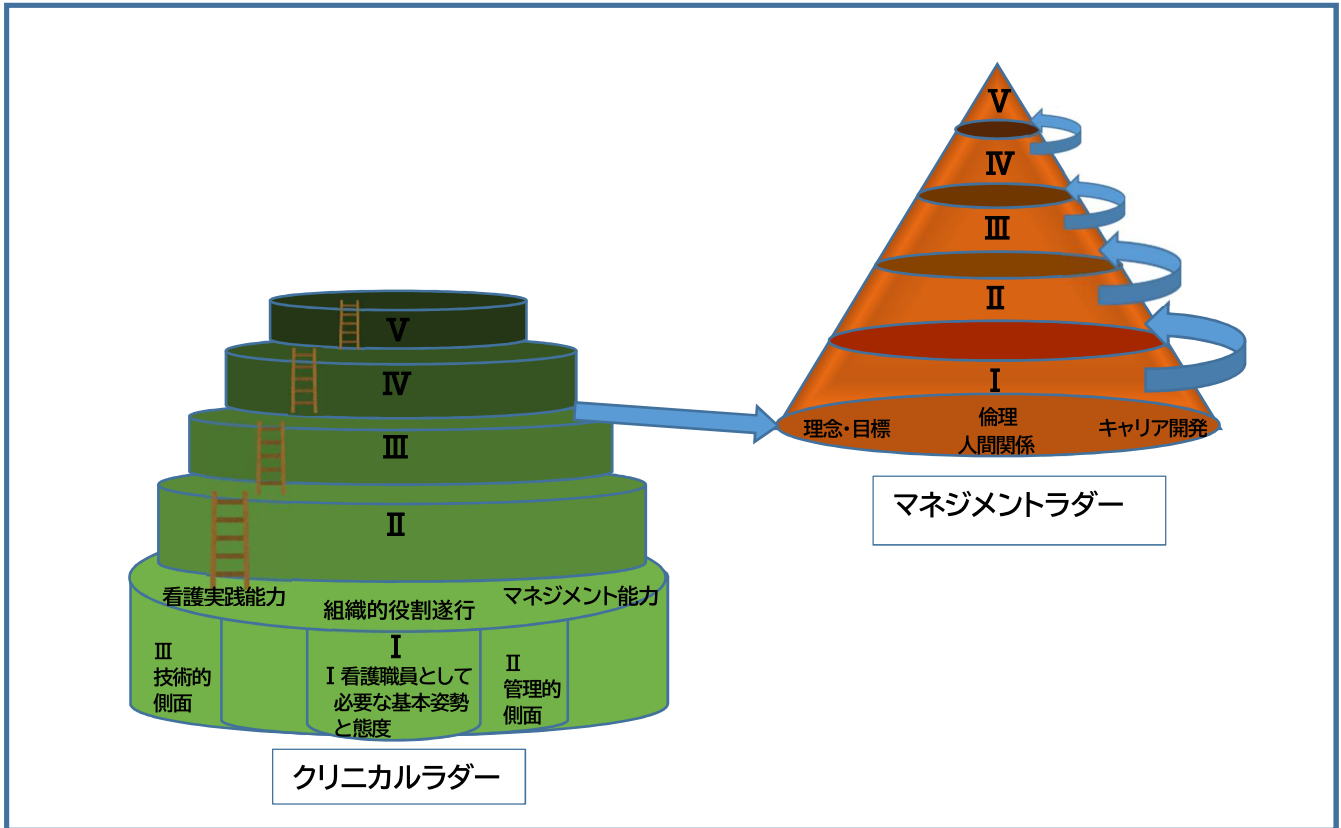
【マネジメントラダー定義と研修プログラム:看護師 2】

	レベルⅣ:副看護部長	レベルⅤ:看護部長
到達目標	済生会の使命に基づいて、社会・看護の動向を捉え看護部長を補佐する。また、済生会御所病院・同看護部の運営に貢献できる	済生会の使命に基づいて、社会・看護の動向を捉え、病院運営に参画し、看護部門を管理・運営できる
理念と目標管理	①看護部長を補佐し、済生会の理念および済生会御所病院の理念・方針を基に、看護部方針決定、企画・運営に参画する ②看護部長の指示のもと、他部門・多職種との調整を図り、目標達成に向けて行動する ③済生会の理念及び済生会御所病院や同看護部の理念・方針を看護部全体へ浸透させる ④看護師長を支援し、適切な指導を行う	①済生会の理念及び済生会御所病院の理念・方針を基に看護部の方針を提示し、目標達成する ②病院の運営方針の決定に参画する ③社会情勢と医療界を見据え、客観的・長期的展望にたつて、看護部門の管理・運営を改革・刷新する
看護の質・評価・改善	①医療体制・国の動向を把握し、看護部が意思決定に必要なデータを提供する ②看護師長がデータを活用し、提供する看護サービスを評価・改善できるように支援する ③委譲された役割に責任をもって遂行し、看護サービス改善に努める ④委譲された役割の中で他部門に働きかける ⑤医療事故防止・感染防止・危機管理(災害・訴訟・経営)・労務管理等の指導・支援を看護師長に行い、看護部の安全文化の醸成する	①より良い看護サービスを提供するために、常に変革の意識をもち、看護のビジョンを提示する ②医療体制・国の動向を把握し、時代が要請看護サービスを提供する ③データを活用し、看護サービスの質向上、及び看護実践・看護管理の発展に向けて体制を整備する ④安全文化を醸成し、医療事故防止・感染防止・危機管理(災害・訴訟・経営)・労務管理を行う
人間関係能力	①看護部長の指示のもと、組織目標達成のために、看護部内及び部門を超えて成果を導き出すための交渉を行う ②常日頃から良好な人間関係を構築し、ネットワーク作りに努め、看護師長を支援する ③看護職員のストレスマネジメントを実践する	①トップマネージャーとして看護観、倫理観に基づいて意思決定し、一貫した信念をもって組織の活性化に取り組む ②他部門・他職種と建設的な合意形成に導く ③済生会御所病院や同看護部のビジョンを明示して、看護職員が同じベクトルで主体的に参加できる組織風土を醸成する ④対人感受性、対人影響力を持ち、外部の関連機関との連携、協議調整を行う
キャリア開発	①あらゆる機会や経験から学び続け、その姿勢を部下にも示し、行動する ②看護師長個々の能力を引き出し、キャリア開発支援をする ③看護職キャリア開発(人材確保・定着)の推進に向けた院内の教育環境を整備する ④看護部長の方針に沿って人材育成・人材活用を行う ⑤地域の教育ステーションとしてリーダーシップを取り、地域に貢献する ⑥部門内の看護研究の支援を行い、自らも新たな知見を得るための積極的な研究的態度を持つ	①あらゆる機会や経験から学び続け、その姿勢を部下にも示し、行動する ②社会のニーズや済生会の看護理念に基づく看護師のキャリア開発システムを推進し、長期的展望に立った人材育成・人材活用を行う ③看護職等の生涯発達を支えながら組織を成長させる魅力的なキャリア開発(人材確保・定着)の仕組みを作る ④社会情勢を踏まえ、次世代の看護師育成を視野に入れた基礎教育と実践現場の連携を企画・推進する
倫理	①法令や社会的規範を遵守し行動する ②看護部門に生じる倫理的問題を提起し、解決に向けた活動に参画し行動する ③「看護者の倫理綱領」に基づいて行動できるよう、看護職員等に教育する ④看護師長が体験するジレンマや葛藤に対して、看護観・倫理観に基づいて対処できるよう支援する	①法令や社会的規範を遵守し、コーポレート・ガバナンス(組織統治)を行う ②病院組織に起因する倫理的問題を提起し、解決に向けた活動に参画し推進する ③看護観・倫理観に基づいて一貫した言動をとることができる組織風土を醸成する
本部研修	・副看護部長研修 ・副看護部長研修フォローアップ研修	看護部長研修

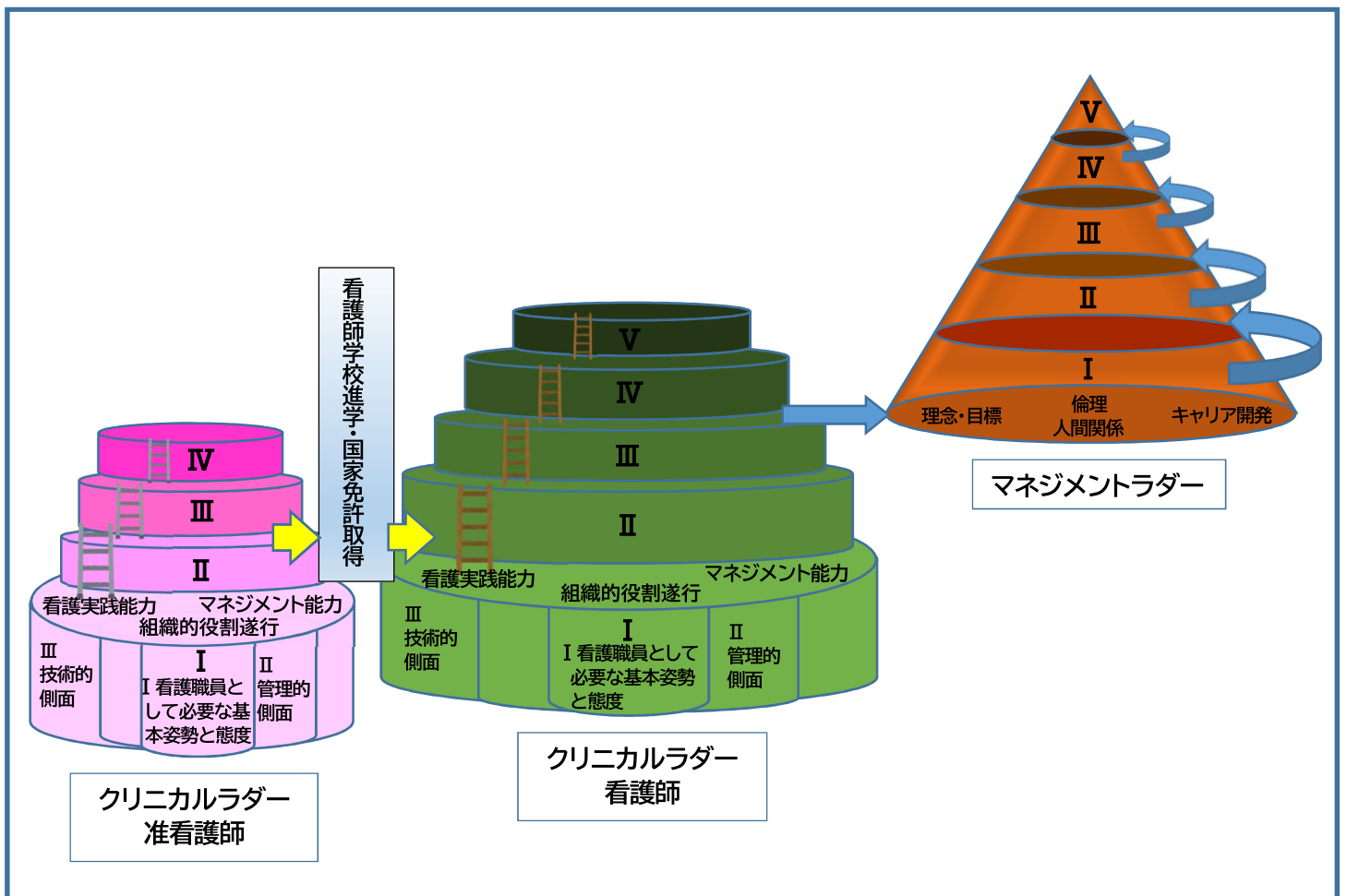
3) クリニカルラダーとマネジメントラダーの連動

- ・クリニカルラダーのレベルⅣは、マネジメントラダーⅠに連動する
- ・クリニカルラダーのレベルⅤは、マネジメントラダーⅡに連動する

【済生会クリニカルラダー、マネジメントラダー概念図】



【済生会御所病院 クリニカルラダー、マネジメントラダー概念図】



4) クリニカルリーダー(看護師)のレベル毎に求められる役割

レベルⅠ	チームの一員としての役割を認識する
レベルⅡ	チームメンバーの役割と責任を認識し、行動する
レベルⅢ	チームにおいてリーダーシップを発揮する
レベルⅣ	所属部署でリーダーシップを発揮し、スタッフを支援する
レベルⅤ	多職種との連携を図り、リーダーシップを発揮しながら所属部署の課題を解決する

クリニカルリーダー(准看護師)のレベル毎に求められる役割

レベルⅠ	チームの一員としての役割を認識する
レベルⅡ	チームメンバーの役割を認識し、指導を受けながら行動する
レベルⅢ	チームメンバーの役割を認識し、看護師に確認のうえ行動する
レベルⅣ	チームリーダーの役割を認識し、看護師に確認のうえ行動する

5) マネジメントリーダーのレベル毎の到達目標

レベルⅠ	済生会の使命に基づいて、済生会御所病院・同看護部の運営方針に沿って、支援を受けながら、自部署の看護管理に参画できる
レベルⅡ	済生会の使命に基づいて、済生会御所病院・同看護部の運営方針に沿って、看護師長を補佐する また、必要時は支援を受けながら、自部署の看護管理を実践できる
レベルⅢ	済生会の使命に基づいて、社会・看護の動向を捉え、済生会御所病院・同看護部の運営方針に沿って自部署の看護管理を実践できる
レベルⅣ	済生会の使命に基づいて、社会・看護の動向を捉え、看護部長を補佐する また、済生会御所病院・同看護部の運営に貢献できる
レベルⅤ	済生会の使命に基づいて、社会・看護の動向を捉え、病院運営に参画し、看護部門を管理・運営できる

6) 研修プログラムの立案

- ・各研修がどのような位置(レベル)にあり、どのような目的・目標であることを明らかにしておく
- ・研修後にどのようになってほしいのかをイメージしていく

7) クリニカルリーダーの評価

- ・個人の成長、臨床実践能力の評価、各人に合った研修受講、看護の質向上、ワークライフバランス、キャリア開発
…自らを客観的に評価できる
 - ・部署の目標達成
 - ・部署全体の質の向上
- 12月末日までに担当部署スタッフの評価表を作成、他者評価は第1評価者と第2評価者により評価される

【レベルに応じた評価システム】

レベル	評価者	最終評価者 レベル承認	承認者
クリニカルリーダー准看護師/クリニカルリーダーレベルⅠ	自己/看護師主任,副看護師長,看護師長	看護師長	看護部長
クリニカルリーダーレベルⅡ	自己/看護師主任,副看護師長,看護師長	看護師長	看護部長
クリニカルリーダーレベルⅢ/マネジメントリーダーⅠ	自己/副看護師長	看護師長	看護部長
クリニカルリーダーレベルⅣ/マネジメントリーダーⅡ	自己/看護師長	看護部長	看護部長
クリニカルリーダーレベルⅤ/マネジメントリーダーⅢ	自己/看護師長,副看護部長,看護部長	看護部長	看護部長
マネジメントリーダーⅣ	自己/看護部長	看護部長	看護部長
マネジメントリーダーⅤ	自己/看護部長	看護部長	看護部長

8) クリニカルリーダー評価基準モデル: 看護師レベルⅠ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ: 別紙参照

9) クリニカルリーダー評価基準モデル: 准看護師レベルⅠ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ: 別紙参照

10) マネジメントリーダー評価基準モデル: レベルⅠ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ: 別紙参照

済生会御所病院 看護師教育システム 2023年版

I. クリニカルラダーレベル教育システム 2023年間計画

▶看護記録・看護診断・看護必要度:主任会

	日程	時間	テーマ	研修内容	場所	担当者
全 体	10月3日(火) 10月6日(金)	14:30~15:00 0.5H	看護記録③	評価方法と記載方法	第3 会議室	主任会
	11月7日(火) 11月10日(金)	14:30~15:00 0.5H	看護記録④	事例を用いて計画立案と評価	第3 会議室	主任会
	4月 各自視聴、テスト受講		看護記録	❖患者が見える、ケアが伝わる看護記録 学研メディカルサポート視聴 45分		主任会
	6月 各自視聴、テスト受講		看護必要度 ①	❖一般急性期病棟編:看護マネジメントに活かす 重症度、医療・看護必要度の評価のポイント 学研メディカルサポート視聴 50分		主任会
	7月 各自視聴、テスト受講		看護必要度 ②	❖地域包括病棟・療養病棟編 :患者をつなぐ重症度、医療・看護必要度の 評価ポイント 学研メディカルサポート視聴 50分		主任会
	8月 各自視聴、テスト受講		看護必要度 ③	❖回復期リハビリテーション病棟編 :急性期からの連携を意識した重症度、 医療・看護必要度の評価ポイント 学研メディカルサポート視聴 50分		主任会

▶接遇、看護倫理、看護コミュニケーション、災害看護:教育研修委員会

	日程	時間	テーマ	研修内容	場所	担当者
全 体	6月22日(木)	14:30~15:00 0.5H	災害看護④ :避難訓練	・エアーストレッチャーを使用して 訓練開始	第3 会議室	教育研修 救急認定
	8月17日(木)	16:45~17:45 1.0H	災害看護⑤ :机上訓練	・実際の病棟例をあげてチームで 机上訓練	第3 会議室	教育研修 救急認定
	4月 各自視聴、テスト受講		コミュニケー ション①	❖あなたのコミュニケーションの特徴を知ろう 学研メディカルサポート視聴18分		
	5月 各自視聴、テスト受講		コミュニケー ション	❖みんなが笑顔になれる アサーションの基本 学研メディカルサポート視聴45分		
	6月 各自視聴、テスト受講		コミュニケー ション	❖困ったときにも役立つアサーションの実際 学研メディカルサポート視聴45分		
	7月 各自視聴、テスト受講		コミュニケー ション	❖患者参加で実現する医療安全 学研メディカルサポート視聴30分		
	8月 各自視聴、テスト受講		コミュニケー ション	❖もう一度振り返ろう! チーム医療の基本 学研メディカルサポート視聴29分		
	9月 各自視聴、テスト受講		コミュニケー ション	❖SNS時代に知っておきたい医療職の情報伝達心得 学研メディカルサポート視聴29分		
	4月 各自視聴、テスト受講		災害看護① :基礎	❖現場に根ざした BCP 学研メディカルサポート視聴30分		
	5月 各自視聴、テスト受講		災害看護② :基礎	❖病院における災害シミュレーション 学研メディカルサポート視聴31分		
6月		災害看護③	❖災害医療対策における平時の備え			

	各自視聴、テスト受講	:基礎	学研メディカルサポート視聴24分
	10月 各自視聴、テスト受講	看護倫理① :基礎	❖臨床倫理 事例検討法 学研メディカルサポート視聴 30分
	11月 各自視聴、テスト受講	看護倫理② :応用	❖多職種で最善のケアを考える 学研メディカルサポート視聴 30分

▶看護理論:副看護師長会

	日程	時間	テーマ	研修内容	場所	担当者
新人看護師	6月9日(金)	14:30~15:00 0.5H	看護理論①	・看護理論とは ・看護理論と看護過程 ・ナイチンゲール理論	第3 会議室	副師長会
	8月25日(金)	14:30~15:00 0.5H	看護理論②	・「心に効く」の抄読会 ～ナイチンゲールの知識を深める～	第3 会議室	副師長会
	11月17日(金)	14:30~15:00 0.5H	看護理論③	・ナイチンゲール理論を用いて 事例展開の方法を学ぶ	第3 会議室	副師長会
	1月18日(木)	16:45~18:30 1.0H	看護理論④	・自部署の症例を事例展開できる	第3 会議室	副師長会

▶看護補助者教育:看護師長会

	日程	時間	研修内容
全体	未定	未定	看護補助者指導に関わる看護師に対する指導 *年間を通じて看護師長が分担し、研修会開催。後日通知。
	各自視聴		❖看護職と看護補助者との協働推進の背景 学研メディカルサポート視聴22分
			❖看護補助者の位置づけ 学研メディカルサポート視聴26分
			❖看護補助者との協働における看護業務の基本的な考え方 学研メディカルサポート視聴27分
			❖看護補助者との協働における業務実施体制 学研メディカルサポート視聴7分
			❖看護師における看護補助者への指示について 学研メディカルサポート視聴21分
			❖知っておきたい看護補助者へ適切な業務指示を行うための留意事項 学研メディカルサポート視聴13分
	❖看護補助者と協働するための情報共有とコミュニケーション 学研メディカルサポート視聴18分		

▶ACP:看護管理室

	日程	時間	研修内容	場所	担当者
全体	7月27日(木)	16:45~17:15 0.5H	ACPとは?①	第3 会議室	看護 管理室
	8月31日(木)	16:45~17:15 0.5H	ACPとは?②	第3 会議室	看護 管理室
	11月16日(木)	16:45~17:45 1.0H	事例検討、発表会 各部署の取り組みを発表しましょう!	第3 会議室	看護 管理室
	6月各自視聴		❖多職種連携を基盤としたアドバンス・ケア・プランニング(ACP) 学研メディカルサポート視聴45分		

▶医療機器の取扱い

	日程	時間	テーマ	研修内容	場所	担当者			
I	4月6日(木)	13:00~14:00 1.0H	医療ガスの取扱い	・酸素配管の取扱い ・ボンベの取扱い	第3 会議室	対応業者			
				❖医療ガスの安全管理と事故防止策 学研メディカルサポート視聴30分		教育担当 副看護部長			
	5月6日(土)	8:30~9:30 1.0H	医療機器の取扱い②	❖輸液ポンプ・シリンジポンプのアラームを鳴らさないための基本テクニック 学研メディカルサポート視聴 43分	第3 会議室	教育担当 副看護部長			
				9:30~11:30 0.9H		医療機器の取扱い①	・輸液ポンプの取扱いと管理 ・シリンジポンプの取扱いと管理 ・心電図モニタの取扱いと管理	第3 会議室	臨床工学 技士
				11:00~11:45 0.75H		医療機器の取扱い③	❖患者さんの変化を見逃さない！ 心臓の動きから理解する心電図モニタ 学研メディカルサポート視聴45分	第3 会議室	教育担当 副看護部長
	5月20日(土)	8:30~9:15 0.75H	医療機器の取扱い④	❖明日からのケアも怖くない！ 人工呼吸器ベーシック 学研メディカルサポート視聴45分	第3 会議室	教育担当 副看護部長			
9:30~11:00 1.5H				医療機器の取扱い⑤		・人工呼吸器の取扱いと管理 ・DCの取扱いと管理	第3 会議室	臨床工学 技士	

▶静脈注射に関する継続看護

	日程	時間	テーマ	研修内容	場所	担当者
新人 看護師	4月7日(金)	8:30~9:15 0.75H	静脈注射に関する継続看護①	❖これであなたも静注・静脈留置針マスター！ 学研メディカルサポート視聴38分	第3 会議室	教育担当 副看護部長
	4月15日(土)	10:00~11:00 1.0H	静脈注射に関する継続看護②	・処方箋の取扱い ・院内の薬剤について ・劇薬・毒薬・抗がん剤の取扱い	第3 会議室	院内薬剤師
	7月15日(土)	9:40~10:40 1.0H	静脈注射に関する継続看護③	・麻薬の取扱いと管理 ・向精神薬の取扱いと管理	第3 会議室	院内薬剤師
		10:45~11:20 1.0H	静脈注射に関する継続看護④	❖看護師が知っておきたい 薬物療法 学研メディカルサポート視聴45分	第3 会議室	教育担当 副看護部長
	11月9日(木)	14:30~15:00 0.5H	静脈注射に関する継続看護⑤	輸液トラブルの対処法	第3 会議室	救急看護 認定看護師 永井由紀
	12月 各自視聴			静脈注射に関する継続看護⑥	❖輸血の基礎知識と安全のためのコミュニケーション 学研メディカルサポート視聴45分	

▶フィジカルアセスメント研修

	日程	時間	テーマ	研修内容	場所	担当者
I・II	5月20日 (土)	11:15~12:00 0.75H	フィジカルア セスメント②	フィジカルアセスメント:基礎編	第3 会議室	救急看護 認定看護師
	10月12日 (木)	14:30~15:00 0.5H	フィジカルア セスメント③	フィジカルアセスメント:実践編	第3 会議室	救急看護 認定看護師
II	4月 各自視聴、テスト受講		フィジカルア セスメント①	◆このバイタルサインは何を示す? 学研メディカルサポート視聴45分		
II III	12月 各自視聴、テスト受講		フィジカルア セスメント④	◆フィジカルアセスメントの戦略 学研メディカルサポート視聴46分		

▶BLS・臨床推論:ICLS 準備委員会、救急看護認定看護師

	日程	時間	テーマ	研修内容	場所	担当者
新人 以外	5月22日(月) 5月23日(火)	14:00~15:00 1.0H	BLS①	2年目以上の看護師対象 BLS コース ・心肺蘇生の訓練を受ける ・AED を用いた除細動の訓練 ★各自事前にBLS前の確認 救命救急処置技術 ビジュアルナーシングメソッドで確認 ①バックバルブマスクの使用方法 ②AED の使用方法 ③一次救命処置(BLS) ④チームメンバーの応援要請	リハビ リ室	ICLS 準備委員会
	9月12日(火)	14:00~15:00 1.0H	BLS②	新人看護師対象 BLS コース ・心肺蘇生の訓練を受ける ・AED を用いた除細動の訓練 ★各自事前にBLS前の確認 救命救急処置技術 ビジュアルナーシングメソッドで確認 ①バックバルブマスクの使用方法 ②AED の使用方法 ③一次救命処置(BLS) ④チームメンバーの応援要請	リハビ リ室	ICLS 準備委員会
II III	各自視聴		急変対応	◆チームで取り組む急変対応 学研メディカルサポート視聴45分		
III	各自視聴		臨床推論	◆看護における臨床推論とその会得方法 学研メディカルサポート視聴21分		
	各自視聴		臨床推論	◆クリティカルケア領域における成長モデルと臨床推論 との結びつき 学研メディカルサポート視聴17分		

▶リスクマネジメント研修、医療安全コース:リスクマネジメント委員会

	日程	時間	テーマ	研修内容	場所	担当者
I	7月25日(火)	14:30~15:00 0.5H	リスク研修 :レベル I 対象	・リスクマネジメントについて ・事例を用いての検討会	第3 会議室	リスクマネジ メント研修会
II	8月29日(火)	14:30~15:00 0.5H	リスク研修 :レベル II 対象	・事例を用いての検討会	第3 会議室	リスクマネジ メント研修会

Ⅲ	10月24日(火)	14:30~15:00 0.5H	リスク研修 :レベルⅢ対象	・事例を用いたの検討会	第3 会議室	リスクマネジ メント研修会
Ⅳ	12月5日(火)	14:30~15:00 0.5H	リスク研修 :レベルⅣ対象	・事例を用いたの検討会	第3 会議室	リスクマネジ メント研修会
全 職 員	4月 各自視聴		❖基礎から学ぶ！医療安全 学研メディカルサポート視聴30分			
	5月 各自視聴		❖医療安全を組み立てる！プロセス指向と標準化 学研メディカルサポート視聴30分			
	6月 各自視聴		❖チームの力を引き上げる！多職種で取り組む医療安全 学研メディカルサポート視聴30分			
	7月 各自視聴		❖患者参加で実現する医療安全 学研メディカルサポート視聴30分			
	9月 各自視聴		❖動画で実践！みんなで取り組むKYT！ 学研メディカルサポート視聴30分			
	10月 各自視聴		❖重大な事件・事故発生時に備えた医療体制のあり方 学研メディカルサポート視聴30分			

▶看護共育コース

	日程	テーマ	研修内容
Ⅰ Ⅱ	4月 各自視聴	看護チーム	❖メンバーシップ・フォロワーシップ 学研メディカルサポート視聴43分
Ⅱ Ⅲ	4月 各自視聴	プリセプター	❖プリセプターマインド 学研メディカルサポート視聴46分
	6月 各自視聴	セルフコンパッション	❖がんばっているあなたに知ってほしい セルフ・コンパッションのすすめ 学研メディカルサポート視聴32分
	10月 各自視聴	リフレクション	❖はじめてのリフレクション 学研メディカルサポート視聴45分
Ⅲ 以 上	4月 各自視聴	シミュレーション	❖シミュレーションのいろはを学ぶ 学研メディカルサポート視聴45分
	5月 各自視聴	ティーチング コーチング	❖これからのティーチング 学研メディカルサポート視聴45分
	6月 各自視聴		❖これからのコーチング・ファシリテーション 学研メディカルサポート視聴45分
	7月 各自視聴	発達障害	❖こんなときどうする？発達障害にまつわる指導のヒント 学研メディカルサポート視聴45分
	8月 各自視聴	研修計画	❖インストラクショナル・デザイン 学研メディカルサポート視聴38分
	9月 各自視聴	ロールプレイ	❖患者のきもちを知り、看護を考えるロールプレイ 学研メディカルサポート視聴45分

▶中堅コース・疾患別看護

	日程	テーマ	研修内容
Ⅱ Ⅲ	4月 各自視聴	急変対応	❖チームで取り組む急変対応 学研メディカルサポート視聴 45分
	5月	せん妄対策	❖夜勤でもあわてない！せん妄対策と対応を知ろう

	各自視聴		学研メディカルサポート視聴45分
	6月 各自視聴	糖尿病	❖患者とともに学ぶ、透析予防のための 糖尿病セルフマネジメント 学研メディカルサポート視聴45分
	7月 各自視聴	スペシャリスト	❖めざせスペシャリスト！専門性の高い看護師が輝く現場とは 学研メディカルサポート視聴45分
	8月 各自視聴	ADL	❖看護師が知っておきたいADL 評価指標とその活用 学研メディカルサポート視聴45分
	9月 各自視聴	排便ケア	❖患者の QOL を高める排便ケアの基本 学研メディカルサポート視聴45分
	10月 各自視聴	手術室医療安全	❖手術室でこそ気をつけたい医療安全 学研メディカルサポート視聴29分
	11月 各自視聴	外来看護	❖外来看護のテクニック 学研メディカルサポート視聴44分
	12月 各自視聴	マネジメント	❖中堅ナースに伝えたい 看護マネジメントの基礎 学研メディカルサポート視聴41分
	1月 各自視聴	キャリアデザイン	❖未来のはしごを登っていこう 学研メディカルサポート視聴43分
Ⅲ 以上	4月 各自視聴	心不全看護	❖心不全パンデミック時代の急性増悪への対応 学研メディカルサポート視聴45分
	5月 各自視聴	呼吸管理	❖急性期から慢性期へとつなぐ呼吸管理 学研メディカルサポート視聴45分
	6月 各自視聴	画像検査	❖看護師が知っておきたい 画像検査の読み解き方 学研メディカルサポート視聴 45分
	7月 各自視聴	カンファレンス	❖看護者として考えるカンファレンス 学研メディカルサポート視聴45分
	8月 各自視聴	訪問	❖地域の暮らしを支えるための訪問看護師との連携 学研メディカルサポート視聴45分
	9月 各自視聴	褥瘡	❖いまさら聞けない褥瘡の適切なアセスメントに必要な知識 学研メディカルサポート視聴39分
	10月 各自視聴	がん	❖がん薬物療法の最新知識 学研メディカルサポート視聴49分
	11月 各自視聴	排尿ケア	❖多職種チームで取り組む排尿ケア・排尿自立支援 学研メディカルサポート視聴47分

▶入退院支援・地域包括ケアコース

	日程	テーマ	研修内容
Ⅱ Ⅲ	5月 各自視聴	栄養管理	❖退院後も口から食べる！ 学研メディカルサポート視聴50分
	7月 各自視聴	保健師	❖地域で活躍する！ 保健師の取り組みから考える地域共生社会 学研メディカルサポート視聴50分
Ⅱ 以上	6月 各自視聴	栄養管理	❖退院後も健やかに暮らすための栄養管理 学研メディカルサポート視聴50分
	7月 各自視聴	ヤングケアラー	❖ヤングケアラーと家族の暮らしを支える 学研メディカルサポート視聴50分

	8月 各自視聴	ネットワーク	❖患者の暮らしを支えるためのネットワーク 学研メディカルサポート視聴50分
Ⅲ 以上	4月 各自視聴	認知症	❖認知症患者への退院支援 学研メディカルサポート視聴50分
	5月 各自視聴	精神疾患	❖精神疾患のある患者が地域で「暮らす」ということ 学研メディカルサポート視聴50分
	6月 各自視聴	がん治療	❖外来でがん化学療法を受けている人の暮らし 学研メディカルサポート視聴50分
	7月 各自視聴	生活困窮者支援	❖生活困窮者への退院支援 学研メディカルサポート視聴50分
	8月 各自視聴	特定行為看護師	❖地域で活躍する特定行為看護師 学研メディカルサポート視聴50分
	9月 各自視聴	地域包括ケア	❖ICT 利活用で変わる地域包括ケア 学研メディカルサポート視聴50分

▶病院経営

	日程	テーマ	研修内容
全 職 員	各自視聴	病院経営	❖社会・医療環境の変化にも負けない病院経営の考え方 学研メディカルサポート視聴50分
		診療報酬	❖診療報酬、先進事例を的確に読み解いて収益向上戦略につなぐ！ 学研メディカルサポート視聴50分
		マネジメント	❖事業計画立案と実行の戦略的マネジメント 学研メディカルサポート視聴50分

▶事例研究:副看護師長会

	日程	時間	テーマ	研修内容	場所	担当者
Ⅱ 以上	5月16日 (火)	14:30~15:00 0.5H	事例研究 ①	❖当院看護研究ガイドラインに沿った事例研究の書き方	第3 会議室	副 師長会
	1月25日 (木)	16:45~18:45 2.0H	事例研究 発表会	・自己の事例研究内容を発表	第3 会議室	副 師長会
	4月 各自視聴		事前課題	❖院内発表につなげる気づき 学研メディカルサポート28分視聴		
	6月 各自視聴		事例研究 ②	❖文章の書き方～人に伝わる文章を書くコツ～ 学研メディカルサポート20分視聴 ❖より良い看護ケアのためのケーススタディ ～実践につなげる研究とは～ 学研メディカルサポート27分視聴		
	7月 各自視聴		事例研究 ③	❖倫理的配慮の基本 学研メディカルサポート23分視聴 ❖文献はなぜ読むの？どう探すの？ 学研メディカルサポート17分視聴		
	11月 各自視聴		事例研究 ④	❖発表で気をつけること、おさえるポイント ～次の看護研究につなげるために～ 学研メディカルサポート31分視聴		

▶看護管理:看護管理コース

テーマ	研修内容	担当者
看護管理①	今日からリーダー！スタッフを巻き込むマネジメント術 学研メディカルサポート45分視聴	年間を通して 各自で計画的に

看護管理②	心理的安全性が叶えるヘルシーワークプレイス 学研メディカルサポート45分視聴	視聴、テスト受講 をしてください
看護管理③	看護補助者と看護師の協働がかなえる医療の効率化 学研メディカルサポート45分視聴	
看護管理④	地域と患者を守る病床管理のためのマネジメント術 学研メディカルサポート45分視聴	
看護管理⑤	中間評価を最大限に活かす目標管理 学研メディカルサポート 45 分視聴	
看護管理⑥	チームで成果を上げる目標管理 学研メディカルサポート41分視聴	
看護管理⑦	管理者からみるスタッフのメンタルケア 学研メディカルサポート36分視聴	
看護管理⑧	人事考課とマネジメントラダーを活用する事例 学研メディカルサポート37分視聴	
看護管理⑨	対応に配慮が必要なスタッフとともに働くための支援 学研メディカルサポート38分視聴	

II. 専門分野別教育システム 2023年間計画

▶事例検討、臨床推論:認定看護師会

	日程	時間	テーマ	研修内容	場所	担当者
Ⅲ 以上	6月5日(月) 6月9日(金)	12:30~13:00 0.5H	皮膚排泄ケア①	未定	第3 会議室	皮膚排泄ケア認定看護師 前川和世
	6月26日(月) 6月30日(金)	12:30~13:00 0.5H	皮膚排泄ケア②	事例検討	第3 会議室	皮膚排泄ケア認定看護師 前川和世
	7月3日(月) 7月7日(金)	12:30~13:00 0.5H	認知症看護①	未定	第3 会議室	認知症看護認定看護師 豊國友子
	7月24日(月) 7月28日(金)	12:30~13:00 0.5H	認知症看護②	事例検討	第3 会議室	認知症看護認定看護師 豊國友子
	8月1日(火) 8月3日(木)	12:30~13:00 0.5H	手術看護①	未定	第3 会議室	手術看護認定看護師 原田和典
	8月29日(火) 8月31日(木)	12:30~13:00 0.5H	手術看護②	事例検討	第3 会議室	手術看護認定看護師 原田和典
	9月5日(火) 9月7日(木)	12:30~13:00 0.5H	救急看護①	未定	第3 会議室	救急看護認定看護師 永井由紀
	9月26日(火) 9月28日(木)	12:30~13:00 0.5H	救急看護②	事例検討	第3 会議室	救急看護認定看護師 永井由紀

*12:00開場。昼食をとりながら、リラックスした中で講義を聴き、ディスカッションできるランチョンセミナーとして開催予定

▶看護研究:認定看護師会

	日程	時間	テーマ	研修内容	場所	担当者
	4月14日(金)	14:30~15:00 0.5H	看護研究①	・看護研究とは ～看護研究ガイドラインを もとに～ ・学研ナーシングサポート 「初めての学会発表」各自視聴	第3 会議室	認定看護師会

Ⅲ 以上	6月3日(土)	9:00~11:00	看護研究②	コンサルテーション:計画	第2 会議室	認定看護師会
	8月5日(土)	9:00~11:00	看護研究③	コンサルテーション:中間	第2 会議室	認定看護師会
	10月13日(金)	14:30~15:00 0.5H	看護研究④	・データのまとめ方 ・論文の構成 ・学研ナーシングサポート 「看護研究コース」各自視聴	第3 会議室	認定看護師会
	11月4日または18日(土) 未定、後日連絡		看護研究⑤	コンサルテーション:まとめ	第2 会議室	認定看護師会
	未定 仮2月17日(土)	9:00~12:00	看護研究⑥	看護研究発表会	第3 会議室	認定看護師会

▶ストーママーキングとストーマ管理:ストーマ認定士

全 体	日程	時間	テーマ	研修内容	場所	担当者
	10月5日 (木)	16:45~17:45 1.0H	ストーママーキング とストーマ管理	・ストーママーキングの実際 ・ストーマ管理の実際	第3 会議室	ストーマ認定士 梅田桃志美

▶消化管内視鏡看護:消化管内視鏡技師

全 体	日程	時間	テーマ	研修内容	場所	担当者
	8月10日 (木)	16:45~17:45 1.0H	消化管内視鏡検査と 検査前後の看護	・消化管内視鏡検査とは ・検査前後の看護	第3 会議室	内視鏡技師 倉本康代

▶認知症:認知症チーム

	日程	時間	テーマ	研修内容	場所	担当者
全 体	6月6日 (火)	14:30~15:00 0.5H	認知症 ⑥	❖【看護編 事例動画】現場で役立つ! 認知症のアセスメントとケア 視聴内容のディスカッション *学研メディカルサポート30分を視聴して参加	第3 会議室	認知症ケア 委員会
	9月19日 (火)	14:30~15:00 0.5H	認知症 ③	❖【看護編2事例動画】認知症患者に対する 現場で役立つ! 認知症の方へのコミュニケ ーション・環境調整 視聴内容のディスカッション *学研メディカルサポート30分を視聴して参加	第3 会議室	認知症ケア 委員会
全 体	各自視聴		認知症 ①	❖【医学編1】 認知症にみる原因疾患とその症状・治療法 学研メディカルサポート視聴22分		認知症ケア 委員会
			認知症 ②	❖【医学編2】事例から学ぶ認知症とせん妄 学研メディカルサポート視聴24分		認知症ケア 委員会
			認知症 ③	❖【事故防止編】認知症のケアにおける医療安全 学研メディカルサポート視聴32分		認知症ケア 委員会
			認知症 ④	❖【倫理編】認知症患者の日常ケアで生じる倫理的課題 学研メディカルサポート視聴27分		認知症ケア 委員会
			認知症 ⑤	❖【看護編1】現場で役立つ! 認知症患者に対するアセスメントとケア 学研メディカルサポート視聴30分		認知症ケア 委員会
			認知症	❖【看護編2】現場で役立つ!		認知症ケア

		⑦	認知症の方へのコミュニケーション・環境調整 学研メディカルサポート視聴30分	委員会
--	--	---	---	-----

▶高齢者コース

	日程	研修内容
全 体	各自視聴	❖二次性骨折の予防のために！ 学研メディカルサポート視聴30分
		❖安全・安楽・自立・QOLを意図した食事介助技術 学研メディカルサポート視聴30分
		❖症状変化を見逃さない！脳神経看護の基本をおさえる 学研メディカルサポート視聴30分
		❖高齢者の運動機能報告とリスク管理 学研メディカルサポート視聴30分
		❖脳卒中看護の基本を学ぶ 学研メディカルサポート視聴26分
		❖骨粗鬆症をケアするために 学研メディカルサポート視聴24分
		❖患者に寄り添うCKD支援 学研メディカルサポート視聴30分
		❖高齢者の糖尿病のセルフケアを支える 学研メディカルサポート視聴30分

▶感染対策:感染リンク委員会・ICT看護師 ◎

	日程	時間	テーマ	研修内容	場所	担当者
全 体	5月11日 (木)	14:30~15:00 0.5H	感染対策 ①	新型コロナウイルス感染症対応 ～院内感染、クラスター報告～ 感染制御室 梅田桃志美	第3 会議室	ICT チームナース
	4月 各自視聴		感染対策 ②	❖学び直しの標準予防策 (スタンダードプリコーション) 学研メディカルサポート視聴 30分		感染リンク NS 委員会
	5月 各自視聴		感染対策 ③	❖感染経路別予防策をおさらい！ ～もしもに備えるアウトブレイク対策～ 学研メディカルサポート視聴 30分		感染リンク NS 委員会
	6月 各自視聴		感染対策 ④	❖施設を守る感染マネジメント入門 学研メディカルサポート視聴 42分		感染リンク NS 委員会
	7月 各自視聴		感染対策 ⑤	❖❖訪問看護の感染対策 実施のポイント ～コロナ禍における在宅での対策～ 学研メディカルサポート視聴25分		感染リンク NS 委員会
	8月 各自視聴		感染対策 ⑥	❖❖基礎からわかるノロウイルス感染症対策 学研メディカルサポート視聴 30分		感染リンク NS 委員会
	9月 各自視聴		感染対策 ⑦	❖看護師が知っておくべき耐性菌とマネジメント 学研メディカルサポート視聴33分		感染リンク NS 委員会
	10月 各自視聴		感染対策 ⑧	❖基礎からわかるインフルエンザ対策 学研メディカルサポート視聴 30分		感染リンク NS 委員会

Ⅲ.院外研修について

病院職員として済生会本部・支部研修への参加、日本看護協会や奈良県看護協会主催の研修会への参加、他学会・研修会への参加を支援する。

済生会御所病院 中途採用看護師研修 2023 中途採用看護師スポンサーシップ

中途採用看護師がなるべく早く各部署に慣れ、最大限の能力が発揮できるように、一人の中途採用者に対し、数名の看護師が支援・援助する仕組みである。

1.スポンサーシップの役割

院内・部署内の説明・ガイド、年間スケジュール、1日の業務の流れ、詰所会・チーム会について、各マニュアルについて、臨床実践能力達成度教育について、その他相談役等を果たす。

2.スポンサーシップの期間

原則的に夜勤独り立ちが終わり、慣れた頃を目途とする。

I.中途採用看護師研修目的

組織の一員であることを認識し、新たな職場環境に適応し、キャリアを継続できるよう支援する。

II.中途採用看護師研修目標

- 1.病院・看護部の理念・概要を理解する
- 2.医療チームの一員として期待される役割を認識し、行動する
- 3.安全な看護ケアを提供できるように、必要な知識・技術を再学習し、実践する

III.中途採用者教育研修ガイダンス

研修内容、日程は、看護師経験度等によって計画する。

テーマ	内 容	所要時間
看護部の概要	*済生会御所病院看護部理念・方針・活動について、 専門職業人について *看護協会・看護連盟について	2.0 時間
看護部教育について	*済生会御所病院看護部の教育方針・教育計画について	1.0 時間
社会人規範	*済生会御所病院の職員としての 社会人のルールとは 必要な接遇とは 個人情報とは	2.0 時間
看護倫理	*看護倫理とは *倫理綱領について	0.5 時間
医療安全	*済生会御所病院の医療安全対策について	1.0 時間
感染対策	*感染対策の基本 *手洗いの方法 *マスクの着用方法等	1.0 時間
看護業務規程	*看護業務基準、マニュアルについて *看護必要度について	1.0 時間
看護技術実習	*必要に応じて計画する	

済生会御所病院 新人看護師研修ガイドライン 2023 の基本的な考え方

I. 新人看護職員研修の理念

- 1) 看護は人間の生命に深く関る職業であり、患者の生命、人格及び人権を尊重することを基本とし、生涯にわたって研鑽されるべきものである。新人看護職員研修は、看護実践の基礎を形成するものとして重要な意義を持つ
- 2) 新人看護職員を支えるためには、周囲のスタッフだけでなく、全職員が新人看護職員に関心をもち、皆で育てるという組織文化をつくりあげる。また、新人看護職員を支援し、周りの全職員が共に全職員が共に支え合い、成長することを目指す。

II. 新人看護師基本方針

- 1) 新人看護職員が基礎教育で学んだことを土台に、新人看護職員研修で臨床実践能力を高め、生涯にわたって経験し、獲得したことを蓄積し、自己研鑽することを目指す。
- 2) 医療における安全の確保及び質の高い看護の提供は重要な課題である。安全で安心な療養環境を保証するため、当院は組織的に職員の研修に取り組み、新人看護職員研修はその一環として位置付ける。
- 3) 新人看護職員研修は、基礎看護教育では学習する事が困難な医療チーム内で複数の患者を受け持ち、多重課題を抱えながら、看護を安全に提供するために臨床実践を強化することを主眼におく。
- 4) 専門職業人として成長するためには、新人看護職員自らがたゆまぬ努力を重ねるべきであることはいうまでもないが、新人の時期から生涯にわたり、継続的に自己研鑽を積む事ができる実効性のある運営体制や研修支援体制を整備する。実際には、看護師継続教育は臨床看護実践能力達成度別教育システムを導入し、その初段階として、新人看護職員研修を計画する。
- 5) 医療状況の変化や看護に対する患者・家族のニーズに柔軟に対応するために、新人看護職員研修は毎年見直していく。

III. 新人看護師教育研修体制

1) 新人看護職員を支える体制

- ① 病院管理者、看護管理者は、当院の理念や基本方針に基づいた新人看護職員研修が実施できる体制の構築に責任を持つ。また、理念や基本方針を研修に携わる職員全員と共有する。
- ② 新人看護職員研修は、所属部署の直接の指導者だけでなく、部署スタッフ全員が新人看護職員を見守り、サポート体制を構築する。そして、新人看護職員が看護の素晴らしさを実感し、看護に対する誇りを持てるように、実地指導者がモデルとなる。
- ③ 新人看護職員が臨床現場に順応し、臨床実践能力を獲得するためには根気強くあたたかい支援が必要である。また、新人看護職員の不安を緩和するために、職場適応のサポートやメンタルサポートの体制を作るために、新人看護職員を周りで支えるための役割を持つ人員の体制作りをする。
- ④ 新人看護職員研修は、病院全体で取り組み、共通する研修内容等は、医師や薬剤師等の新人職員との合同で研修を行う。また専門的な知識・技術を有する職員を新人看護職員研修に参画させる。そして病院の他職種との連携を密にとり、新人看護職員が他職種の業務を理解するための機会を計画する。

2) 研修における組織体制とその役割

① 新人看護職員

- ・免許取得後に初めて就労する看護職員のこと。
- ・自立して個人の今後の目標を定め、主体的に参加することができる。

② プリセプター

- ・新人看護職員の精神的な悩みを聞き、相談役としての役割を担う。
- ・看護実践経験の近い者が担当する。
- ・実地指導者と協力し合い、新人看護職員を支えていく。メンタルサポートに主眼をおく。
- ・新人看護職員 1 名に対して、1 名を配置する。

③ 実地指導者

- ・新人看護職員に対して、臨床実践に関する実地指導・評価等を行う者である。

- ・看護職員として必要な基本的知識・技術・態度を有し、教育的指導ができる者であることが望ましい。
- ・実地指導者の配置は、新人看護職員に対して継続的に指導を行い、複数(4～5名)を配置する。

④新人教育担当者

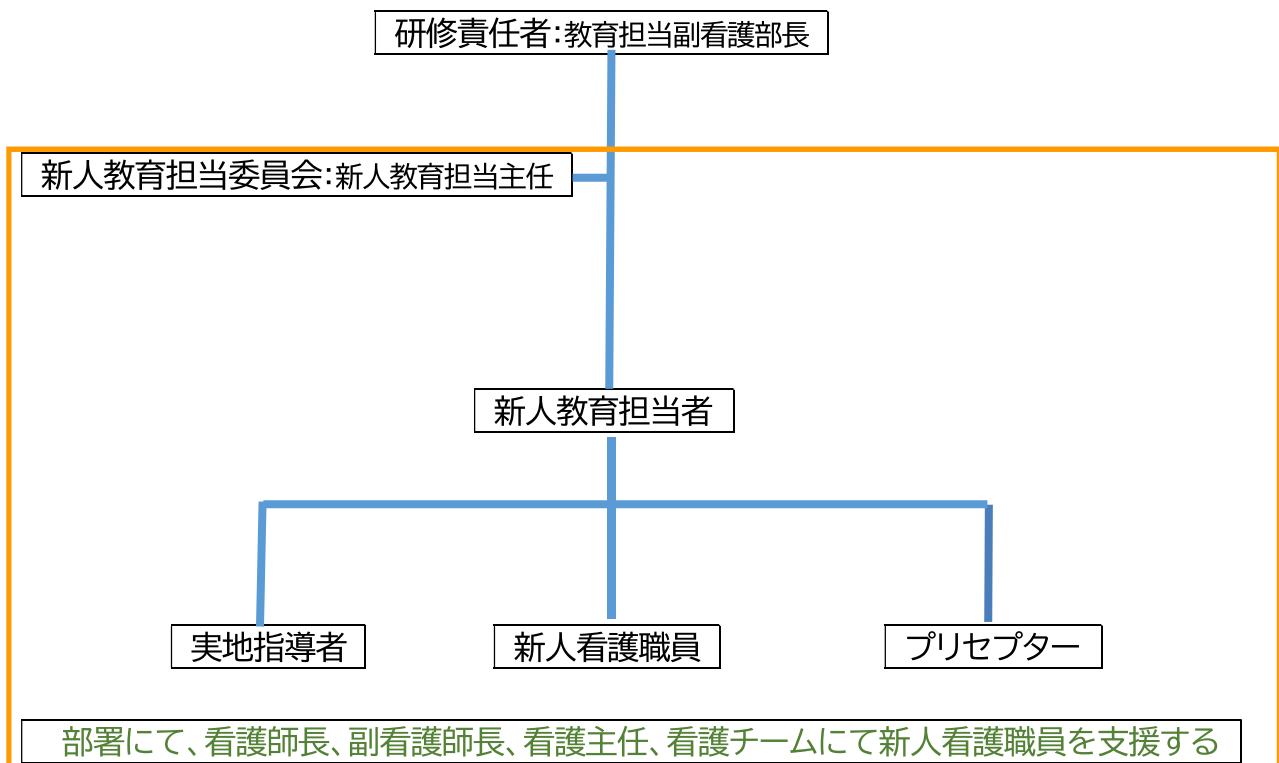
- ・看護部門の新人看護職員の教育方針に基づき、各部門で実施される研修の企画・運営を中心となって行う者であり、実地指導者への助言及び指導、または新人看護職員へ指導・評価を行う。
- ・看護職員の模範となる臨床実践能力をもち、チームリーダーとしての調整能力を有し、教育的役割を發揮できる者とする。
- ・プリセプターと情報を共有し、メンタルサポートを行う。
- ・新人教育担当者は、各部署1名とする。複数の実地指導者の中から1名に任命する。

⑤新人教育担当者委員会:新人教育担当主任

- ・研修プログラムの策定、企画及び運営を行うための委員会であり、研修責任者の元に設置する。
- ・施設間や職場間の連携を行い、最適な研修方法や研修内容について具体的に検討を行う。
- ・新人教育担当主任が指導・教育の立場から参加する。

⑥研修責任者:教育担当副看護部長

- ・病院及び看護部の教育方針に基づき、新人教育担当者は実地指導者及びプリセプターの研修プログラムの策定、企画及び運営に対する指導及び助言を行う。
- ・研修の企画・運営・実施・評価もすべての過程においての責任者である。
- ・各部署の管理者と連携を図りつつ、新人教育担当者の支援を行い、部署間の調整を含め、新人看護職員研修全体を把握する
- ・新人教育担当者と連絡をとり、メンタルサポートを行う。
- ・他施設と連携し、研修会を実施する場合は、施設間の調整役となる。
- ・研修計画、研修プログラムの策定において、様々な意見や課題を集約し、件数の結果を評価する能力や、研修の運営において問題解決及び状況に合せた新たな研修計画を策定していく能力が求められる。
- ・研修責任者は1名、おく。



済生会御所病院 卒後看護師臨床研修 新人看護師研修制度 2023

看護基礎教育施設を卒業した新人看護師が、臨床現場において持ち得る看護知識を活用し実践能力を発揮できるように、研修期間を設ける。

I. 新人看護師教育目標

1. 日常生活援助のための専門的知識、技術、態度を修得し、安全で確実な看護実践ができる。
2. チームメンバーの一員として、配属部署における役割と責任を果たすことができる。
3. 社会人、組織人、専門職業人として、責任のある行動がとれる。

II. 卒後看護師臨床研修 目的

1ヵ月の研修期間中に ①看護知識と看護技術の確認 ②不足している看護技術と看護技術を追加習得できるよう研修を行う。その結果、臨床看護実践能力を養い、患者・家族へ安全で安心な療養環境を整え、医療を提供する力を習得し、スムーズに臨床現場に適応することを目的とする。

III. 卒後看護師臨床研修 目標

1. 基礎看護技術を習得し、患者の特性に配慮した実践ができる
 - ①1ヵ月のローテーション期間において、基礎看護技術を指導者のもとで実践する
 - ②患者・家族の訴えからニーズや要望に配慮した技術の提供を検討できる
 - ③基礎看護技術の復習や標準的な看護手順を理解するために積極的に研修に参加する
 - ④基礎看護技術の習得に向けて、チェック表を活用する
2. 段階的な学習の実施や同僚とのコミュニケーションを通して、臨床現場に適応できる
 - ①段階的な学習を計画して、取り組むことができる
 - ②社会人としての礼節を身につけ、コミュニケーション力を高める
 - ③困難なこと、不安なことを言葉にして伝える
 - ④ストレスに対する自分の反応を知る
3. 済生会御所病院の役割や特徴を理解し、病院における看護師の役割を考えて実践できる
 - ①1ヵ月のローテーション期間において、各部署の特徴や役割を知る
 - ②配属部署の特徴に応じて、患者・家族のニーズを充足した看護ケアを実践する
 - ③患者・家族との関係作りの重要性を理解する
 - ④病院内で働く職種の役割を知り、協働する大切さを知る
 - ⑤チーム医療の構成員としての看護師の役割を理解する
 - ⑥看護者の倫理綱領や済生会御所病院「患者さまの権利」をもとに行動できる

IV. 卒後看護師臨床研修 特徴

1. ローテーション研修と集合研修を組み合わせた研修システム
 - 4月初旬の集合研修が終了後は、配属部署を決めず、その後1ヵ月間は「臨床研修看護師」として、病棟を3ヵ所ローテーションする。到達目標を【ステップ】ごとに提示し、段階を経てステップできるように取り組む。
 - 日勤研修は、8時30分から16時30分までの勤務時間帯で行う。
 - 夜勤研修は、ステップ3の病棟で16時30分から翌朝8時30分までの二交替勤務時間帯で1回実施する。シャドーイングで見学中心の研修を行う。
 - ステップ2の病棟で、早出研修7時00分から15時00分、遅出研修12時00分から20時00分の変則勤務時間帯で、各1回以上実施する。
 - 毎日、日常生活援助や診療補助技術に関する集合研修を行う。

●毎 2・4土曜、日曜、祝日はそのまま休日となる。

●ローテーション部署を変更する前に集合研修を実施し、知識・技術を再確認すると共に、各ステップにおける目標到達の振り返りと評価を行い、交流・意見交換の場を持つ。

2. 新人看護師として看護実践に必要な基本的な知識・技術・態度を育成する教育システム

●部署内でのプリセプター・シップを導入している。プリセプティーが年間を通じて相談役として1名担当する。

日々の現場では部署のすべての看護師が指導者として新人看護師に関わり、新人看護師を育てる環境を作る。

●年間を通じて、臨床実践能力達成度教育研修、専門分野教育研修をする。

●年間を通じて、定期的にフォローアップ研修をする。

V. ローテーション研修とは

●ローテーション毎に到達目標を設定、研修部署が違っていても、全員が同じ時期に【ステップ1】～【ステップ4】の同じ段階を踏んで、同じ目標に向かって取り組めるようにする。

【ステップ1:前期ローテーション①】

1. 部署の特徴や役割を知る
2. 看護職員の役割を知る
3. 基礎看護技術を指導者のもとで見学、経験する
4. 社会人としての礼節を身につける
5. 同期の同僚との関係づくりができる

【ステップ2:前期ローテーション②】

1. 指導者のもとで、基礎看護技術を繰り返し実践する
2. 指導者のもとで、患者1名を担当、看護業務を実践する
3. 指導者のもとで、看護記録に必要な情報を考え、記録する
4. 病院組織としての看護業務の連携・しくみがわかる
5. 看護業務における医療安全のしくみを理解する
6. 早出研修に臨み、早出勤務帯の患者の状態と看護業務内容を知る
7. 遅出研修に臨み、遅出勤務帯の患者の状態と看護業務内容を知る

【ステップ3:前期ローテーション③】

1. 患者の状態観察を行い、状況に合った根拠のある手順で看護技術を提供する
技術だけでなく、患者への配慮を学びながら実践する
2. 指導者のもとで、優先順位を考慮しながら患者2名を担当、看護業務を実践する
3. 指導者のもとで、看護記録に必要な情報を考え、記録する
4. 医療安全を意識して、チームメンバーと連携して看護実践する
5. 夜勤研修に臨み、各勤務帯の患者の状態と看護業務内容を知る
6. 研修を通じて、自己の課題を認識する

【ステップ4:後期ローテーション】

1. クリティカルケア領域における体験を通して得た看護知識と看護技術を自部署における看護展開に活用できる
2. 自己の看護を振り返り、今後の課題を見出す
3. 自己の看護の視点を広げる
4. 自部署とどのように関連しているか理解する

●各部署の特殊性や特徴を学ぶ。

●各部署での研修成果を評価・確認していくために、新人看護師技術チェックリストを指導者と共に到達度の確認、次の課題を確認しながら、知識・技術・態度を身につけていく。

- 各ローテーション終了時に研修実施用紙および評価表を記入し、指導担当者に提出する。
- 5月8日、研修成果で臨床実践能力を身につけた新人看護師を各部署に配属する。
- 病棟以外の外来・化学療法室・透析室・手術室・内視鏡室・救急室は後期ローテーション(11月に1日間)で希望部署の研修をする。

VI.集合研修とは

1. 全入職者対象研修

- ①病院の理念・沿革・就業規則などの説明を受け、まずは「社会人としての自覚」を持つ研修からスタートする。
- ②医療安全・院内感染対策・医療倫理、コミュニケーション研修やマナー研修などを学ぶ。

2. 看護部研修

- ①看護部の紹介に始まり、研修制度、看護記録・看護業務・看護必要度について学ぶ。
- ②看護技術演習を行い、ビジュアルナーシングメソッドでの手順の確認と実技を行う。

新人教育担当委員、教育研修委員、認定看護師、副看護師長、看護主任、臨床工学士などが研修講師・タスクを担当する。

- 環境調整技術：環境調整、ベッドメイキング、シーツ交換
 - 食事援助技術：食事介助、経鼻胃管からの栄養法、胃瘻からの栄養法
 - 排泄援助技術：排尿介助、排便介助、膀胱留置カテーテルの挿入・抜去、浣腸、摘便
 - 活動・休息援助技術：移送、移乗、体位変換
 - 清潔・衣生活援助技術
：全身清拭、洗髪、口腔ケア、入浴介助、陰部洗浄、手浴、足浴、おむつ交換、寝衣交換
 - 呼吸・循環を整える技術：酸素吸入、吸引、吸入
 - 創傷管理技術：包帯法、褥瘡処置、創傷処置
 - 与薬の技術
：経口、経皮、口腔内、点眼、点耳、点鼻、直腸内、吸入、注射、輸液ポンプ、輸血、麻薬
 - 救命救急処置技術
：意識レベル、BLS、バックバルブマスク・ジャクソンリースの使用法、AED、気管挿管
 - 症状・生体機能管理技術
：脈拍、体温、血圧、瞳孔、呼吸、採血、検体採取、培養検査、血糖値測定、12心電図検査、心電図モニタ装着・管理、パルスオキシメータ、身長、体重、胸囲、腹囲
 - 苦痛の緩和・安楽確保の技術：安楽な体位、冷罨法、温罨法
 - 感染予防技術
：手洗い、手指消毒、個人防護用具の着脱、N95マスクの着脱、滅菌手袋・ガウン、滅菌物の取扱い、感染性廃棄物の取扱い、針刺し防止策・対応
 - 安全確保の技術
：誤薬防止、患者誤認防止策、患者・部位・手技名誤認防止、転倒転落防止策、薬剤曝露防止、放射線被曝の防止
 - 死亡時のケア：死後のケア
- ③新人看護職員技術チェックコースプラス⁺での手順の確認と実技を行う。
- 新人教育担当委員、教育研修委員、認定看護師、副看護師長、看護主任、臨床工学士などが研修講師・タスクを担当する。
- 基本技術
：皮下埋め込み型ポートの管理、ドレーン挿入患者の管理、局所麻酔における看護、胃瘻周囲部のスキンケア
弾性ストッキングの着用、間欠的下肢空気圧迫法

○救急

: 救急カートの点検、除細動、ハイムリック法、窒息時の吸引、経口エアウェイ・経鼻エアウェイ
熱傷時の初期対応、胃洗浄における看護、アナフィラキシー発症時の初期対応、ALS

○手術: 硬膜外麻酔における看護、貯血式自己血輸血の採血

○集中ケア: 動脈圧モニタ(準備、ラインの挿入、採血、管理)

○呼吸器

: 経皮的気管穿刺(緊急時)、気管切開部の管理、気管切開チューブ交換の介助、人工呼吸器離脱
胸腔穿刺、胸腔ドレナージ(胸水、気胸)、胸腔ドレナージの管理

○循環器

: 心嚢穿刺、心嚢ドレーン挿入、体外式ペースメーカ挿入患者の対応
心臓ペースメーカ植え込み術直後の対応

○消化器

: 腹腔穿刺、腹腔ドレーン挿入、イレウス管挿入患者の管理、ストーマサイトマーキング
ストーマ造設術直後の装具交換、ストーマ装具の排泄物処理

○検査

: 腰椎穿刺、骨髄穿刺、上部消化管内視鏡検査、上部消化管内視鏡検査看護、下部消化管内視鏡検査、
下部消化管内視鏡検査看護、気管支鏡検査、気管支鏡検査看護、心臓カテーテル検査、
心臓カテーテル検査看護、血管造影検査、血管造影検査看護、上部消化管X線造影検査、
上部消化管X線造影検査看護、超音波検査、超音波検査看護、RI 検査、RI 検査看護、CT 検査、
CT 検査看護、MRI 検査、MRI 検査看護、X線一般撮影、X線ポータブル撮影

○その他

: 陰圧閉鎖療法中の患者の管理、介達牽引・直達牽引の介助、牽引中の患者の管理、
神経根ブロックの検査前準備(病棟、外来、放射線科)神経根ブロックの検査介助、ギプス巻きの介助、
牽引中の体位変換

Ⅶ. 新人看護師 入職時集合研修日程一覧表

日程	時間	テーマ	研修内容	場所	担当者
4月1日 (土) 1日目	8:30~9:00 0.5H	辞令交付	・辞令交付 ・院長挨拶	第3 会議室	院長 総務課
	9:00~9:30 0.5H	経理課からの説明	・病院規程について ・書類手続きについて	第3 会議室	経理課
	9:30~10:00 0.5H	済生会の歴史に ついて 社会人規範	・済生会御所病院の歴史、役割、使命 ・専門職業人とは ・済生会御所病院の求める職員とは ・人事考課について	第3 会議室	事務部長
	10:00~11:30 1.5H	感染対策	感染対策コース ❖学びなおしの標準予防策 (スタンダードプリコーション) 学研メディカルサポート 視聴 30分	第3 会議室	感染制御 実践看護師 梅田桃志美
			◆講義・演習 ・感染対策の基礎 ・感染予防技術		
	11:30~12:00	看護部について	・看護職員としての基本姿勢、看護体制 ・ハラスメントとは、院内の取り組み ・看護協会の役割、看護連盟の役割	第3 会議室	看護部長
12:00~12:30	各看護部責任者の紹介		第3 会議室	教育担当 副看護部長	

日程	時間	テーマ	研修内容	場所	担当者
4月3日 (月) 2日目	8:30~9:00 0.5H	社会人基礎力関連 個人情報の取扱い	❖医療従事者が知っておくべき個人情報の 適切な取り扱い方 学研メディカルサポート 視聴 30分	第3 会議室	教育担当 副看護部長
	9:00~12:00 3.0H	フィジカルアセスメント①	❖このバイタルサインは何を示す？ ～患者の現在を見極め、未来を見通す～ 学研メディカルサポート 視聴 45分	第3 会議室	新人教育 担当者
		看護技術演習② 症状・生体機能 管理技術 ビジュアルナーシング メソッドで手順確認実技 フィジコ使用	◆バイタルサイン測定 ・脈拍測定 ・動脈触知(頸部、上肢、下肢) ・体温測定(腋窩) ・血圧測定(電子血圧計、下肢) ・瞳孔評価 ・呼吸回数、呼吸音聴取 ・心電図モニタ装着と管理 ・パルスオキシメータによる測定		
	12:00~13:00	昼食休憩			
	13:00~13:30 0.5H	看護業務について	・看護業務基準 ・院内の業務基準マニュアルについて	第3 会議室	業務担当 看護師長
	13:30~14:30 1.0H	医療安全について	❖基礎から学ぶ！医療安全 学研メディカルサポート 視聴30分	第3 会議室	リスク担当 看護師長

			◆講義:医療安全とは ・医療安全対策について ・インシデントレポート、ヒヤリハットとは ・インシデントレポートについて ・インシデントレポート記入方法		
	14:30~15:30 1.0H	病院内の仕組み 院内見学	・外来患者の流れ ・入院患者の流れ ・院内見学	全館	新人教育 担当者
	15:30~16:00	社会人基礎力関連 接遇	◆新医療人のためのビジネスマナー 学研メディカルサポート 視聴29分	第3 会議室	教育担当 副看護部長
	16:00~16:30 0.5H	看護部の教育体制に ついて	・当院の教育体制 ・新人教育研修内容について	第3 会議室	教育担当 副看護部長

日程	時間	テーマ	研修内容	場所	担当者
4月4日 (火)	8:30~11:00 2.5H	看護技術演習①	看護支援システムについて	第3 会議室	新人教育 担当者
3日目	11:00~12:00 1.0H	看護記録について	・看護記録とは ・記録の方法 ・記録マニュアルについて	第3 会議室	主任会
	12:00~13:00	昼食休憩			
	13:00~13:45 0.75H	看護記録について	◆患者が見える、ケアが伝わる看護記録 学研メディカルサポート 視聴45分	第3 会議室	主任会
	13:45~15:15 1.5H	看護必要度について	・看護必要度とは ・必要度の記録について	第3 会議室	主任会
	15:15~16:15 1.0H	倫理関連	◆臨床倫理入門 学研メディカルサポート 視聴30分 ◆講義:看護倫理について 看護者の倫理綱領	第3 会議室	教育委員会
	16:15~16:30 0.25H	基礎習得コース	◆3日坊主にならない入職後の学習方法 学研メディカルサポート 視聴13分	第3 会議室	教育担当 副看護部長

日程	時間	テーマ	研修内容	場所	担当者
4月5日 (水)	8:30~12:00 4.0H	看護技術演習⑧ 清潔・衣生活援助 ビジュアルナーシング メソッドで手順確認実技 浴室・特浴見学	◆清潔 ・全身清拭・洗髪 ・臥床患者の口腔ケア ・挿管患者の口腔ケア ・義歯のある患者の口腔ケア ・入浴介助・シャワー浴介助 ・陰部洗浄・手浴・足浴 ◆衣生活 ・おむつ交換・シーツ交換・寝衣交換	第3 会議室 演習 ルーム	新人教育 担当者
	12:00~13:00	昼食休憩			
	13:00~13:45 0.75H	◆「口から食べたい」を叶える看護師の口腔ケア・摂食嚥下支援 学研メディカルサポート 視聴45分		第3 会議室	教育担当 副看護部長

	13:45~15:45 2.0H	看護技術演習⑩ 食事援助技術 ビジュアルナーシング メソッドで手順確認実技	・間接的嚥下訓練 (嚥下体操、アイスマッサージ) ・安全な食事介助のための準備 ・食事介助 ・経鼻胃管からの栄養法 ・胃瘻からの栄養法	第3 会議室 演習 ルーム	新人教育 担当者
	15:45~16:30 0.75H	看護技術演習⑫ 症状・生体機能 管理技術	❖患者の安全・安心・安楽を守る採血のコツ ～正しい手技で正確な検査結果につなげよう～	第3 会議室	新人教育 担当者

日程	時間	テーマ	研修内容	場所	担当者
4月6日 (木) 5日目	8:30~12:00 3.5H	看護技術演習⑥ 救命救急処置 技術 ビジュアルナーシング メソッドで手順確認実技	❖「わかる」が「できる」になる急変対応 ～新人看護師のあなたにできる第一歩～ 学研メディカルサポート視聴 45分 ・意識レベルの把握 ・一次救命処置 ・バックバルブマスクの使用法 ・ジャクソンリースの使用法 ・AEDの使用法 ・気管挿管の準備と介助 ・止血法 ・チームメンバーへの応援要請 新人看護職員技術チェックコースプラス+ 追加 ・救急カートの点検 ・除細動 ・ハイムリック法 ・窒息時の吸引 ・経口エアウェイ・経鼻エアウェイ ・二次救命処置	第3 会議室 ↓ 第1 会議室	救急看護 認定看護師 永井由紀 新人教育 担当者
	12:00~13:00	昼食休憩			
	13:00~14:00 1.0H	医療ガスの取扱い	・酸素配管の取扱い ・ボンベの取扱い ❖医療ガスの安全管理と事故防止策 学研メディカルサポート 視聴30分	第3 会議室	オキシ テック 教育担当 副看護部長
	14:00~16:30 2.5H	看護技術演習③ 呼吸を整える技術 ビジュアルナーシング メソッドで手順確認実技	❖安全で安楽な排痰・吸引技術をモノにする 学研メディカルサポート 視聴 43分 ◆酸素吸入 ・鼻カニューレによる酸素吸入 ・簡易酸素マスクによる酸素吸入 ・ネブライザー機能付き酸素吸入器による 酸素吸入 ・酸素ボンベからの酸素吸入 ◆吸引	第3 会議室 演習 ルーム	新人教育 担当者

			<ul style="list-style-type: none"> ・口腔内・鼻腔内吸引 ・気管切開患者の開放式吸引 ・挿管患者の開放式吸引、閉鎖式吸引 		
--	--	--	--	--	--

日程	時間	テーマ	研修内容	場所	担当者
4月7日 (金) 6日目	8:30~9:10 0.6H	静脈注射に関する 継続看護①	<ul style="list-style-type: none"> ❖これであなたも静注・静脈留置針 マスター！ ～ヒヤヒヤしなくても大丈夫～ <p style="text-align: right;">学研メディカルサポート 視聴38分</p>	第3 会議室	教育担当 副看護部長
	9:10~12:00 2.8H	看護技術演習⑫ 症状・生体機能 管理技術 ビジュアルナーシング メソッドで手順確認実技 各検体容器の説明	<ul style="list-style-type: none"> ・静脈採血(シリンジ、真空管) ・血液培養 ・咽頭培養 ・尿の採取 ・喀痰の採取(自力、吸引) ・動脈血採血の準備と検体の取扱い ・血糖採血、測定 	演習 ルーム	新人教育 担当者
	12:00~13:00	昼食休憩			
	13:00~16:30 3.5H	看護技術演習⑦ 与薬の準備 与薬の技術 ビジュアルナーシング メソッドで手順確認実技	<ul style="list-style-type: none"> ・経口与薬 ・簡易懸濁法 ・経皮与薬 ・口腔内与薬 ・点眼 ・点耳 ・点鼻 ・直腸内与薬 <p>◆準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンプル・バイアルからの薬液の吸い上げ ・ミキシング・プライミング <p>◆注射種類別内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・皮下注射 ・筋肉内注射 ・皮内注射 ・インスリン注射(専用シリンジ、ペン型) ・静脈内注射(ワンショット) ・点滴注射静脈内注射 ・三方活栓からの静脈内注射 ・三方活栓からの点滴静脈内注射 ・持続点滴注射 ・中心静脈カテーテル挿入の介助 	第3 会議室 演習 ルーム	新人教育 担当者

日程	時間	テーマ	研修内容	場所	担当者
4月10日 (月) 7日目	8:30~9:15 0.75H	❖転倒・転落予防のためのアセスメントを知ろう	学研メディカルサポート 視聴46分	第3 会議室	教育担当 副看護部長
	9:15~11:15	看護技術演習⑤	・歩行介助	第3	理学療法士

	2.0H	活動・休息援助 技術 ビジュアルナーシング メソッドで手順確認実技	・車いすへの移乗、移送 ・ストレッチャーへの移乗、移送 ・チューブ類の取り扱い	会議室 演習 ルーム	新人教育 担当者
	11:15~12:00 0.75H	◆褥瘡ケアの「いろは」～予防・発見・悪化防止の3ステップ～ 学研メディカルサポート 視聴 45分		第3 会議室	教育担当 副看護部長
	12:00~13:00	昼食休憩			
	13:00~14:00 1.0H	スキンケア	・スキンケアとは ・スキンケアの基礎知識	第3 会議室	皮膚排泄ケア 認定看護師 前川和世
	14:00~16:00 2.0H	看護技術演習④ 活動・休息援助 技術、苦痛緩和・安楽 確保の技術 ビジュアルナーシング メソッドで手順確認実技	◆体位変換 ・左右移動 ・上下移動 ・仰臥位から側臥位 ・側臥位から端座位 ・チューブ類の取り扱い ◆安楽な体位介助	演習 ルーム	新人教育 担当者
	16:00~16:30 0.5H	社会人基礎力関連	◆医療職のためのメンタルヘルス対策 学研メディカルサポート視聴 30分	第3 会議室	教育担当 副看護部長

日程	時間	テーマ	研修内容	場所	担当者
4月11日 (火) 8日目	8:30~9:15 0.75H	◆安全な尿道留置カテーテルの挿入と感染管理 学研メディカルサポート 視聴 43分		第3 会議室	教育担当 副看護部長
	9:15~12:30 3.25H	看護技術演習⑨ 排泄援助技術 ビジュアルナーシング メソッドで手順確認実技	・臥床患者の排尿介助(男性、女性) ・臥床患者の排便介助(男性、女性) ・導尿 ・膀胱留置カテーテルの挿入	第3 会議室 演習 ルーム	新人教育 担当者
	12:30~13:30	昼食休憩			
	13:00~15:00	看護技術演習⑨ 排泄援助技術 ビジュアルナーシング メソッドで手順確認実技	・浣腸 ・排便	第3 会議室 演習 ルーム	新人教育 担当者
	15:00~15:30 0.5H	看護技術演習⑩ 苦痛の緩和・安楽確 保の技術 ビジュアルナーシング メソッドで手順確認	・冷罨法 ・温罨法 ・リラクゼーション法 (手順・動画視聴のみ)	第3 会議室	新人教育 担当者
	15:30~16:00 0.5H	社会人基礎力コース 基礎	◆医療職が育む社会人基礎力の必要性 学研メディカルサポート 視聴30分	第3 会議室	教育担当 副看護部長
	16:00~16:30 0.5H	◆ある新人看護師の完璧なる1日～日勤・夜勤編～ ◆ある新人看護師の完璧なる1日～タイムラインの作り方編～ 学研メディカルサポート 視聴 11分+8分		第3 会議室	教育担当 副看護部長

II. 看護部集合研修

- 臨床場面に必要性の高い知識や技術について時期を考慮して、再学習・修得できるよう研修をする。
- 入職後 3 ヶ月、6 ヶ月時にカンファレンスを行い、不安や悩みを共有し解決を見出すために、意見交換・交流の時間としても活用する。
- 半年後には看護理論を用いた事例展開、その2ヵ月後には自部署の症例を用いた事例展開をし、発表会を設ける。

【ローテーション中集合研修一覧表】

前期ローテーション① 4月12日～4月18日 5日間					
日程	時間	テーマ	研修内容	場所	担当者
4月12日 (水)	13:00～ 13:30 0.5H	環境調整技術 食事援助技術 ビジュアルナーシングメソッド で手順確認・テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・病室の環境調整 ・ベッドメイキング ・臥床患者のシーツ交換 ・間接嚥下訓練:嚥下体操 ・間接嚥下訓練:アイスマッサージ ・安全な食事介助のための準備 ・食事介助 ・経鼻胃管からの栄養法 ・胃瘻からの栄養法 	第3 会議室	教育担当 副看護部長
4月13日 (木)	13:00～ 13:30 0.5H	排泄介助技術 ビジュアルナーシングメソッド で手順確認・テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・臥床患者の排泄介助 ・臥床患者の排便介助 ・導尿 ・膀胱留置カテーテルの挿入、管理、 抜去 ・浣腸 ・摘便 	第3 会議室	教育担当 副看護部長
4月14日 (金)	13:00～ 13:30 0.5H	活動・休息援助技術 ビジュアルナーシングメソッド で手順確認・テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行介助 ・車いすへの移乗、移送 ・ストレッチャーへの移乗、移送 ・チューブ類の取扱い:移乗の場合 ・体位変換 ・チューブ類の取扱い:体位変換の場合 ・廃用症候群予防 ・関節可動域訓練 ・入眠・睡眠の援助 ・体動・移動に必要な患者へ 	第3 会議室	教育担当 副看護部長
4月15日 (土) 4.0H	8:30～ 9:15 0.75H	◆未来の「わたし」をイメージしよう ～先輩ナースには何が必要？～ 学研メディカルサポート 視聴45分		第3 会議室	新人教育委員 教育担当 副看護部長
	9:15～ 10:00 0.75H	先輩看護師のナラティブ を聞く	①西4階病棟 富永怜佳 看護師 ②東3階病棟 豊國友子 副看護師長 認知症ケア認定看護師 ③手術室・放射線科・内視鏡・救急 保田真由美 副看護師長	第3 会議室	新人教育委員 教育担当 副看護部長

	10:00～ 11:00 1.0H	静脈注射に関する 継続看護②	・処方箋の取扱い ・院内の薬剤について ・劇薬・毒薬・抗がん剤の取扱い	第3 会議室	院内薬剤師
	11:00～ 11:30 0.5H	与薬の技術 ビジュアルナーシングメソッド で手順確認・テスト	・麻薬の理解と管理 ・特別な注意を要する薬剤の管理 ・抗菌薬の用法の理解と副作用観察 ・抗ウイルス薬等の用法の理解と副作用の観察	第3 会議室	新人教育委員 教育担当 副看護部長
	11:30～ 11:45 0.25H	◆あなたのコミュニケーションの特徴を知ろう ～リアリティショックを和らげるためのヒント～ 学研メディカルサポート 視聴 14分		第3 会議室	新人教育委員 教育担当 副看護部長
	11:45～ 12:30 0.75H	小論文を書いて 発表しよう！	【テーマ】 ・あなたのめざす看護とは ・あなたの看護観と10年後のあなた ・看護師として必要なこと	第3 会議室	新人教育委員 教育担当 副看護部長
		配属希望届配布、説明			
4月17日 (月)	13:00～ 13:30 0.5H	清潔・衣生活援助技術 ビジュアルナーシングメソッド で手順確認・テスト	・全身清拭 ・洗髪 ・口腔ケア ・入浴介助 ・シャワー浴介助 ・陰部洗浄 ・手浴 ・足浴 ・おむつ交換 ・寝衣交換 ・チューブ類の取扱い ・整容	第3 会議室	教育担当 副看護部長
4月18日 (火)	13:00～ 13:30 0.5H	呼吸・循環を整える技術 創傷管理技術 ビジュアルナーシングメソッド で手順確認・テスト	・酸素吸入 ・吸引 ・人工呼吸器の準備、管理 ・人工呼吸器の回路交換 ・ネブライザーの実施 ・体位ドレナージ ・体温調整の基礎知識 ・包帯法 ・褥瘡処置 ・創傷処置	第3 会議室	教育担当 副看護部長
前期ローテーション② 4月19日～4月25日 5日間					
日程	時間	テーマ	研修内容	場所	担当者
4月19日 (水)	13:00～ 13:30 0.5H	与薬の技術 ビジュアルナーシングメソッド で手順確認・テスト	・経口与薬 ・経皮与薬 ・口腔内与薬 ・点眼	第3 会議室	教育担当 副看護部長

			<ul style="list-style-type: none"> ・点耳 ・点鼻 ・直腸内与薬 ・吸入法 		
4月20日 (木)	13:00～ 13:30 0.5H	与薬の技術 ビジュアルナーシングメソッド で手順確認・テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・アンプル、バイアルの薬剤の吸い上げ ・ミキシング、プライミング ・皮下注射 ・筋肉内注射 ・皮内注射 ・インスリン注射 ・静脈内注射 ・点滴静脈内注射 ・ヘパリンロック ・三方活栓からの静脈注射 ・中心静脈カテーテル挿入の準備・ 介助・管理 ・輸液ポンプの使用、管理 ・シリンジポンプの使用、管理 ・輸血の準備、実施 	第3 会議室	教育担当 副看護部長
4月21日 (金)	13:00～ 13:30 0.5H	救命救急処置技術 ビジュアルナーシングメソッド で手順確認・テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・意識レベルの把握 ・一次救命処置 ・バックバルブマスクの使用法 ・ジャクソンリースの使用法 ・AEDの使用法 ・気管挿管の準備と介助 ・止血法 ・チームメンバーへの応援要請 	第3 会議室	教育担当 副看護部長
4月24日 (月)	13:00～ 13:30 0.5H	症状・生体機能管理技術 ビジュアルナーシングメソッド で手順確認・テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・脈拍測定 ・動脈触知 ・体温測定 ・血圧測定 ・瞳孔評価 ・呼吸音の聴取 	第3 会議室	教育担当 副看護部長
		配属希望届の確認、提出:配属希望部署とその理由			
4月25日 (火)	PM	済生会中和病院 まほろば 新人研修会			
前期ローテーション③ 4月26日～5月2日 5日間					
日程	時間	テーマ	研修内容	場所	担当者
4月26日 (水)	13:00～ 13:30 0.5H	症状・生体機能管理技術 ビジュアルナーシングメソッド で手順確認・テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・採血 ・血液培養 ・咽頭培養 ・胃液培養 ・尿の採取 ・喀痰採取 	第3 会議室	教育担当 副看護部長

			<ul style="list-style-type: none"> ・動脈血採血の準備と検体の取扱い ・血糖測定 		
4月27日 (木)	13:00~ 13:30 0.5H	症状・生体機能管理技術 ビジュアルナーシングメソッド で手順確認・テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・12誘導心電図の装着と計測 ・心電図モニタの装着と管理 ・パルスオキシメータによる測定 ・身長測定 ・体重測定 ・胸囲測定 ・腹囲測定(立位、臥位) ・採尿・尿検査の方法と検体の取扱い 	第3 会議室	教育担当 副看護部長
4月28日 (金)	13:00~ 13:30	苦痛の緩和・安楽確保の技術 ビジュアルナーシングメソッド で手順確認・テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・安楽な体位の保持 ・冷罨法 ・温罨法 ・リラクゼーション法 ・精神的安寧を保つためのケア 	第3 会議室	教育担当 副看護部長
5月1日 (月)	13:00~ 13:30 0.5H	感染予防技術 ビジュアルナーシングメソッド で手順確認・テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・スタンダードプリコーションの考え方 ・手洗い・手指消毒 ・個人防護用具の着脱 ・N95 マスクの着脱 ・滅菌手袋の装着 ・滅菌ガウンの着用 ・滅菌物の取扱い ・清潔野のつくりかた ・感染症廃棄物の取扱い ・針刺し防止と針刺し後の対応 ・洗浄・消毒・滅菌の取扱い 	第3 会議室	教育担当 副看護部長
5月2日 (火)	13:00~ 13:30 0.5H	安全確保の技術 死亡時のケア ビジュアルナーシングメソッド で手順確認・テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・誤嚥防止 ・患者誤嚥防止策の実施 ・患者・部位・手技名の誤認防止に関する手順 ・転倒転落防止策 ・薬剤曝露の防止 ・放射線被曝の防止 ・死後のケア 	第3 会議室	教育担当 副看護部長
5月6日 (土)	8:30~ 9:15 0.75H	医療機器の取扱い①	<ul style="list-style-type: none"> ◆輸液ポンプ・シリンジポンプのアラームを鳴らさないための基本テクニック 学研メディカルサポート 視聴 43分 	第3 会議室	教育担当 副看護部長
	9:15~ 10:45 1.5H	医療機器の取扱い②	<ul style="list-style-type: none"> ・輸液ポンプの取扱いと管理 ・シリンジポンプの取扱いと管理 ・心電図モニタの取扱いと管理 	第3 会議室	臨床 工学技士
	10:45~ 11:30 0.75H	医療機器の取扱い③	<ul style="list-style-type: none"> ◆患者さんの変化を見逃さない！心臓の動きから理解する心電図 モニタ 学研メディカルサポート 視聴 45分 	第3 会議室	教育担当 副看護部長
	11:30~	◆新人看護師のあなたが身につけたい協働する力		第3	教育担当

	12:05 0.5H	「コミュニケーション力」 学研メディカルサポート 視聴35分	会議室	副看護部長
	12:00～ 12:30	前期ローテーションの振り返り、意見交換	第3 会議室	教育担当 副看護部長

【配属決定後集合研修一覧表】

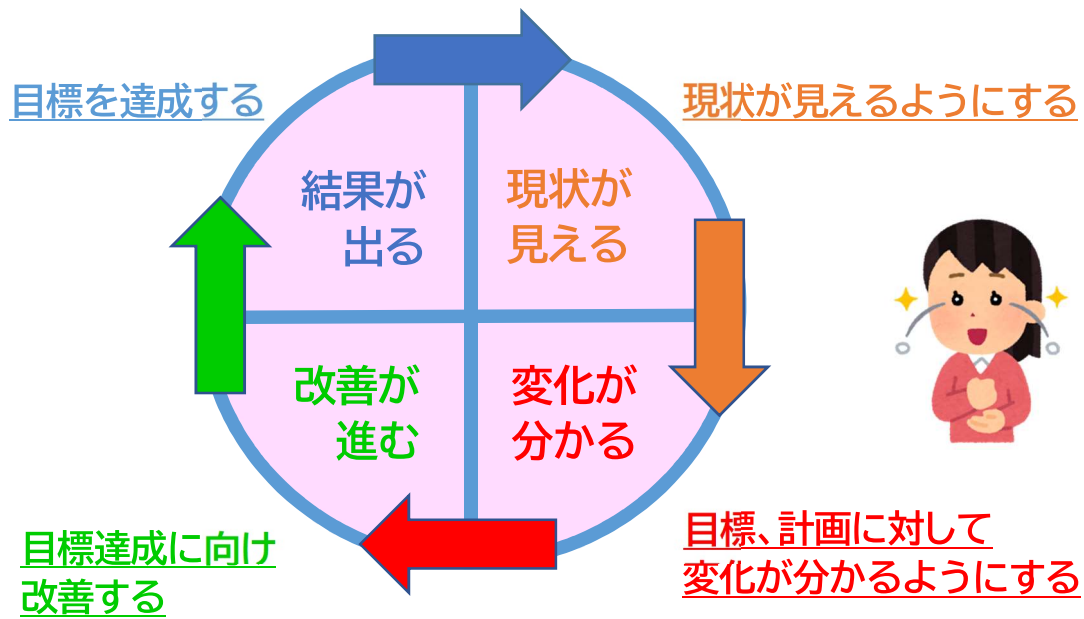
日程	時間	テーマ	研修内容	場所	担当者
5月20日 (土)	8:30～9:15 0.75H	医療機器の取扱い④	◆明日からのケアも怖くない！ 人工呼吸器ベーシック 学研メディカルサポート 視聴45分	第3 会議室	教育担当 副看護部長
	9:30～11:00 1.5H	医療機器の取扱い⑤	・人工呼吸器の取扱いと管理 ・DCの取扱いと管理	第3 会議室	臨床工学士
	11:15～12:00 0.75H	フィジカルアセスメント② ◆フィジカルアセスメント:基礎編 ◆フィジカルアセスメントの戦術～どう着目し、どう進めるか 学研メディカルサポート 視聴45分 各自視聴		第3 会議室	教育担当 副看護部長
	12:00～12:30	質疑・応答 *現状のディスカッション		第3 会議室	新人教育 担当者
6月9日 (金)	14:30～15:00 0.5H	看護理論①	・看護理論とは ・看護理論と看護過程	第3 会議室	副師長会
7月15日 (土)	8:30～9:30 1.0H	看護診断	・看護診断とは ・看護診断の基礎	第3 会議室	主任会
	9:40～10:40 1.0H	静脈注射に関する 継続看護③	・麻薬の取扱いと管理 ・向精神薬の取扱いと管理	第3 会議室	院内薬剤師
	10:45～11:30 0.75H	静脈注射に関する 継続看護④	◆看護師が知っておきたい薬物療法 安心・安全と効果的な治療のために 学研メディカルサポート 視聴45分	第3 会議室	教育担当 副看護部長
	11:30～12:30 1.0H	3カ月カンファレンス レポート作成・提出	・担当部署配置されてからの振り返り ・今後の目標設定 ・個人レポート作成 :看護師としての自分のありかた	第3 会議室	新人教育 担当委員会
7月25日 (火)	14:30～15:00 0.5H	リスクマネジメント 研修:レベルI対象	・リスクマネジメントについて ・事例を用いたの検討会	第3 会議室	リスクマネ ジメント 研修会
8月25日 (金)	14:30～15:00 0.5H	看護理論②	ナイチンゲール理論について	第3 会議室	副師長会
9月12日 (火)	14:00～15:00 1.0H	BLS②	新人看護師対象 BLS コース ・心肺蘇生の訓練を受ける ・AEDを用いた除細動の訓練 ★各自事前にBLS前の確認 救命救急処置技術 ビジュアルラーニングメソッドで確認	リハビリ 室	ICLS 準備委員会
10月7日 (土)	8:30～9:30 1.0H	NST 研修	・NSTとは ・NSTの基本的知識	第3 会議室	NST 専門 療法士 竹川みゆき

	9:40~10:40	地域連携室の役割	・地域連携室とは ・地域連携室の看護師の役割	第3 会議室	地域連携室 副看護部長
	10:45~11:30	❖みえないニーズをとらえよう ～精神的、社会的、スピリチュアルニーズのとらえ方～ 学研メディカルサポート 視聴40分		第3 会議室	教育担当 副看護部長
	11:30~12:30	6ヵ月カンファレンス 個人レポート作成 提出	・6ヵ月間の振り返り ・今後の目標設定 ・個人レポート作成 :患者・家族と私	第3 会議室	新人教育 担当委員会
10月12日 (木)	14:30~15:00 0.5H	フィジカルアセスメント③	フィジカルアセスメント:実践編	第3 会議室	救急看護 認定看護師 永井由紀
11月9日 (木)	14:30~15:00 0.5H	静脈注射に関する 継続看護⑤	輸液トラブルの対処法	第3 会議室	救急看護 認定看護師 永井由紀
11月24日 (金)	14:30~15:00 0.5H	看護理論③	理論を用いての看護展開	第3 会議室	副師長会
12月 各自視聴		フォローアップ研修	❖ナースコールにも慌てない！ チームで多重課題に立ち向かえ 学研メディカルサポート視聴38分		
		静脈注射に関する 継続看護⑥	❖輸血の基礎知識と安全のためのコミュニケーション 学研メディカルサポート視聴47分		
1月18日 (木)	16:45~17:45 1.0H	看護理論④	理論を用いての自部署の症例を 事例展開	第3 会議室	副師長会
2月1日 (木)	14:30~15:10 0.5H	フォローアップ研修	❖患者の希望を叶え、家族を支える エンド・オブ・ライフケア 学研メディカルサポート視聴36分	第3 会議室	教育担当 副看護部長
3月7日 (木)	14:30~15:00 0.5H	1年カンファレンス	・1年間の振り返り ・今後の目標設定	第3 会議室	新人教育 担当委員会

VII. 配属希望調査と配属先の決定

- 4月25日、配属を希望する部署名とその理由を記入、看護管理室に提出する。
- 4月28日、配属部署を発表する。
- 5月6日、前期ローテーション研修の振り返りを行う。
- 配属後は毎月の目標と振り返りシートを提出し、指導担当者、看護主任、副看護師長、看護師長から指導を受ける。

済生会御所病院 看護部 2023年度 新人看護師の成長の見える化
～成長へのリフレクション、リフレーミング～



新人看護師の1年が見えるように【学習歴】【活動歴】【実績歴】などの資料・情報を一元化し、ファイルに綴る。学習・復習してきたことや実際の仕事での学びのプロセスを記録に残し、数値では評価することができない軌跡(能力・人間性)や成長を表現、自己の経験をリフレクション、指導者からコーチングを受け、リフレーミングを行うことで見方、考え方が変わることによって発想が変わり、広がりがでることを狙う

1. 意志ある学びを得るために

- ・ファイルに綴ったものを自らが確認することで【意志ある学び】を得て、成長し、自らの意志で課題に向かう
- ・毎日の仕事の中で実際に行動したこと、考えたことを記録に残し、一旦立ち止まって振り返りを行う
…その日の【目標】【成果】【評価】をアクションシートに書く
- ・結果だけでなく、プロセスを重視するため、毎月の目標と振り返りシートを一部改訂
最初に【願い・目的】【具体的な目標】を設定、【なぜその目標を掲げるのか(理由)、どのような計画を立てるのか】を考えることから始める
- ・指導担当者はもちろん同部署内で新人看護師の現状を把握するための情報源とし、必要時コメント、課題提供
…新人看護師は行動の振り返り・確認、提供課題の対応・提出等を繰り返し、仕事の進捗状況が把握できる
- ・毎月末に自己評価・振り返りを行い、発見したこと・気づいたことを洗い出す
- ・指導者、主任、副看護師長、看護師長とディスカッション、次の月に向けて前向きな目標設定を行う

2. 日付を必ず入れて所定の白色ファイルに綴っていく:ファイルは持ち出し禁止!

- ・1ページ目は【毎月の目標と振り返りシート】を入れる
- ・目標達成までの経過を追うことができるように(いつ何を勉強したのか、次に何を実践したのか、指導者からいつどんなアドバイスを貰ったか…)記録物や資料等に日付を入れて綴ることでプロセスを振り返ることが可能

3. 何でも綴っていく

- ・バイタルサイン記録、ワークシート、自己学習ノート、資料、文献、データ、コメント用紙、手紙等をファイルに綴る、写真やメモ等をアクションシートに貼り付け綴る
- ・1日1枚以上綴っていく:毎日の小さな出来事を積み重ねていくことで毎日の履歴が残る

4. 1年後には

- ・3月に1年間の経験を振り返り、発表会を行う
- ・【私はここまでの結果を出せたので、次はこのようにありたいのでこの目標を掲げ、この計画を立てる(理由)]を述べ、次年度の【願い・目的】【具体的な目標】を設定、【なぜその目標を掲げるのか(理由)、どのような計画を立てるのか】を考える

年 月 日 () 氏名

今日の目標

今日の行動計画

今日の振り返り・学び、自己評価と得た成果
自由に書いたり、貼ったり、今日の1日のありのままを記録する

出勤

退勤

本日のフィードバック

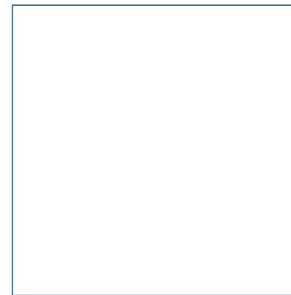
【指導者名:

】

年 月 日 () 氏名

例)その日の【目標】【成果】【評価】を書こう/自己学習内容を書こう/メモや資料を貼り付けよう

2023年度 前期ローテーション① 研修実施用紙



新人看護職員名

研修先

前期ローテーション① 研修目標

1. 部署の特徴や役割を知る
2. 看護職員の役割を知る
3. 基礎看護技術を指導者のもとで見学、経験する
4. 社会人としての礼節を身につける
5. 同期の同僚との関係づくりができる

研修項目

- ・バイタルサインの測定、一般状態の観察
- ・基礎看護技術の見学、指導者の指導のもと実施、評価
: 環境整備、食事援助、排泄援助、活動・休息援助、清潔・衣生活援助、感染予防技術

自己評価・振り返り

発見したこと・気づいたこと

指導者コメント

2023年度 前期ローテーション② 研修実施用紙



新人看護職員名

研修先

前期ローテーション② 研修目標

- 1.指導者のもとで、基礎看護技術を繰り返し実践する
- 2.指導者のもとで、患者1名を担当、看護業務を実践する
- 3.指導者のもとで、看護記録に必要な情報を考え、記録する
- 4.病院組織としての看護業務の連携・しくみがわかる
- 5.看護業務における医療安全のしくみを理解する
- 6.早出研修に臨み、早出勤務帯の患者の状態と看護業務内容を知る
- 7.遅出研修に臨み、遅出勤務帯の患者の状態と看護業務内容を知る

研修項目

- ・バイタルサインの測定、一般状態の観察
- ・基礎看護技術の見学、指導者の指導のもと実施、評価
:呼吸・循環を整える技術、与薬の技術

自己評価・振り返り

発見したこと・気づいたこと

指導者コメント

2023年度 前期ローテーション③ 研修実施用紙



新人看護職員名

研修先

前期ローテーション③ 研修目標

1. 患者の状態観察を行い、状況に合った根拠のある手順で看護技術を提供する
技術だけでなく、患者への配慮を学びながら実践する
2. 指導者のもとで、優先順位を考慮しながら患者 2 名を担当、看護業務を実践する
3. 指導者のもとで、看護記録に必要な情報を考え、記録する
4. 医療安全を意識して、チームメンバーと連携して看護実践する
5. 夜勤研修に臨み、各勤務帯の患者の状態と看護業務内容を知る
6. 研修を通じて、自己の課題を認識する

研修項目

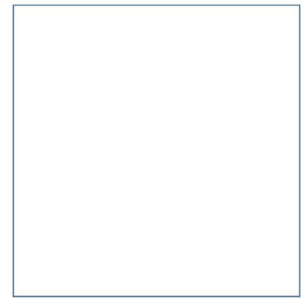
- ・バイタルサインの測定、一般状態の観察
- ・基礎看護技術の見学、指導者の指導のもと実施、評価
 - : 医療機器の取扱い(輸液ポンプ、シリンジポンプ、心電図モニタ)、検体の採取・取扱い
 - : 処方箋の取扱い、身長測定、体重測定、苦痛の緩和・安楽確保の技術、入院患者の取扱い、転棟患者の取扱い

自己評価・振り返り

発見したこと・気づいたこと

指導者コメント

2023年度 後期ローテーション 研修実施用紙



新人看護職員名

研修先

研修日

後期ローテーション 研修目標

1. クリティカルケア領域における体験を通して、得た看護知識と看護技術を自部署における看護展開に活用できる
2. 自己の看護を振り返り、今後の課題を見出す
3. 自己の看護の視点を広げる

研修項目

自己評価・振り返り

発見したこと・気づいたこと

指導者コメント



年 月 日 () 氏名

⑤自己評価・振り返り

②具体的な目標

⑥発見したこと・気づいたこと

③その理由

①願い・目的

④具体的な行動計画

担当者コメント

看護師主任コメント

副看護師長コメント

看護師長コメント

2023年度 前期ローテーション評価表:目標

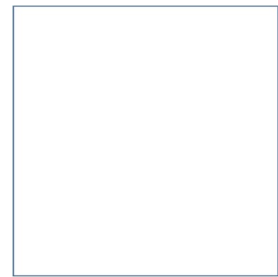


新人看護職員名

観点別評価 4:よくできる 3:できる 2:努力が必要 1:多くの努力が必要

評価項目	研修生	指導者
前期ローテーション① 研修目標		
1. 部署の特徴や役割を知る		
2. 看護職員の役割を知る		
3. 基礎看護技術を指導者のもとで見学、経験する		
4. 社会人としての礼節を身につける		
5. 同期の同僚との関係づくりができる		
前期ローテーション② 研修目標		
1. 指導者のもとで、基礎看護技術を繰り返し実践する		
2. 指導者のもとで、患者1名を担当、看護業務を実践する		
3. 指導者のもとで、看護記録に必要な情報を考え、記録する		
4. 病院組織としての看護業務の連携・しくみがわかる		
5. 看護業務における医療安全のしくみを理解する		
6. 早出研修に臨み、早出勤務帯の患者の状態と看護業務内容を知る		
7. 遅出研修に臨み、遅出勤務帯の患者の状態と看護業務内容を知る		
前期ローテーション③ 研修目標		
1. 患者の状況に合わせた看護技術を提供する		
2. 指導者のもとで、優先順位を考慮し、患者2名を担当、看護業務を実践する		
3. 指導者のもとで、看護記録に必要な情報を考え、記録する		
4. 医療安全を意識して、チームメンバーと連携して看護実践する		
5. 夜勤研修に臨み、夜勤帯の患者の状態と看護業務内容を知る		
6. 研修を通じて、自己の課題を認識する		
管理室評価		

2023年度 前期ローテーション評価表:全般【指導者評価】



新人看護職員名

観点別評価		4:よくできる	3:できる	2:努力が必要	1:多くの努力が必要
観点	評価項目	集合	①	②	③
関心 意欲 態度	遅刻・欠勤なく自己の健康管理ができ、規律ある研修ができる				
	研修生として、ふさわしい身だしなみと言葉づかいができる				
	同僚や他の医療従事者と安定した適切なコミュニケーションをとることができる				
	自己評価及び他者評価を踏まえた学習課題をみつけることができる				
	基礎看護技術の知識をもち、手順を記述できる				
知識 理解	研修の目標・内容が理解できている				
	基礎看護技術の必要性の根拠を理解できる				
思考 判断 表現	患者のニーズを把握し、また一個人として尊重し、受容的・共感的態度で接することができる				
	業務上の報告・連絡・相談を適切に行うことができる				
	コミュニケーションを通して患者との人間関係を築こうとしている				
	業務基準・手順に沿って基礎看護技術を実践することができる				
技能	患者の情報を看護記録から読み取ることができる				
	看護記録記載基準に沿って正確な看護記録が書くことができる				
	個人情報保護法に基づき、プライバシーを保護して医療情報や記録物を適切に取扱うことができる				

各指導者総評

- ①

指導者サイン()
- ②

指導者サイン()
- ③

指導者サイン()

管理室評価

サイン()

配属部署

済生会御所病院 看護部教育・研修システム 2023年版【看護補助者】

済生会御所病院看護部がめざす看護補助者教育実現のため、年間計画を立案、教育研修を行う。

学研ナースングサポート「eラーニングシステム:看護補助者コース」を利用し、看護補助者の成長に役立てる。

看護補助者教育目的

看護チームの一員として、患者が安全に安心して療養生活が送れるよう、責任をもって看護補助者の役割を果たすことができる人材を育成する

看護補助者教育目標

- 1.組織・チームの一員として、役割を自覚し、責任ある行動ができる
- 2.看護チームの一員として、安全に確実に業務が遂行できる
- 3.看護チームの一員として、安全で安心な療養生活を整えることができる
- 4.患者中心に行動でき、人間として尊厳を保障する姿勢を身につけることができる

看護補助者教育年間計画

日程	時間	テーマ	研修内容	場所	担当者
4月17日(月) 4月21日(金)	14:30~ 15:00	接遇・マナーの基本 ~e-ラーニング	・接遇・マナーとは ・身だしなみの基本	第3 会議室	看護 補助者会
5月23日(火) 5月24日(水) 5月26日(金)	14:30~ 15:00	看護補助者の業務について ~チームの一員としての看護 補助者~	講義 済生会教育指針をもとに	第3 会議室	北田副看 護部長
6月13日(火) 6月16日(金)	14:30~ 15:00	感染予防 ~e-ラーニング	・感染予防とは ・標準予防策	第3 会議室	看護 補助者会
7月11日(火) 7月14日(金)	14:30~ 15:00	倫理の基本 ~e-ラーニング	・倫理とは ・医療機関で働くうえでの 倫理について	第3 会議室	看護 補助者会
8月15日(火) 8月18日(金)	14:30~ 15:00	守秘義務、個人情報保護の 基礎知識 ~e-ラーニング	・守秘義務について ・個人情報保護について	第3 会議室	看護 補助者会
9月12日(火) 9月15日(金)	14:30~ 15:00	認知症患者の対応 ~e-ラーニング	・認知症の中核症状と かかわり方 ・認知症患者の心理 ・認知症患者に対する対応	第3 会議室	看護 補助者会
10月17日(火) 10月20日(金)	14:30~ 15:00	チームの一員としての看護補 助者業務の理解 ~e-ラーニング	・医療チームの機能と役割 ・看護補助者の業務	第3 会議室	看護 補助者会
11月14日(火) 11月17日(金)	14:30~ 15:00	診療にかかわる補助業務の 基本 ~e-ラーニング	・目的、業務 ・診察、処置の準備、片付け ・診療材料の補充、整理	第3 会議室	看護 補助者会
12月12日(火) 12月15日(金)	14:30~ 15:00	医療安全 ~e-ラーニング	・医療安全の基礎知識 ・事故防止の基本的な心構え ・事故発生時の対応	第3 会議室	看護 補助者会

1月16日(火) 1月19日(金)	14:30~ 15:00	食事のお世話 ~e-ラーニング	・基本事項 ・誤嚥・窒息を予防する	第3 会議室	看護 補助者会
2月13日(火) 2月16日(金)	14:30~ 15:00	清潔のお世話 排泄のお世話 ~e-ラーニング	・基本事項 ・感染対策	第3 会議室	看護 補助者会
3月12日(火) 3月15日(金)	14:30~ 15:00	移動のお世話 ~e-ラーニング	・用具の種類、使用方法 ・安全な移送方法	第3 会議室	看護 補助者会